

広報

さぼく

6

No.68

2011 June 平成23年

特集

- ・3月議会定例会
- ・町民アンケート結果



長島神社御木曳

平成23年3月 議会定例会一般質問



※議会定例会の様子は定例会実施月に、前回の定例会の一般質問の様をお知らせしますのでご了承ください。

3月議会定例会は、3月3日から22日までの20日間の会期で開催されました。

今回の定例会では、議会発議3件、条例制定・改正及び平成23年度予算等の町長提出議案23件、継続審査の陳情2件を審議しました。

3日の開会日には、発議案1件を可決、その後、議案の提案説明及び内容説明、4日は、発議案1件を可決、その後、議案に対する質疑を行い、議案を各常任委員会に付託することを決定しました。

15日、16日、17日は、12人の議員が一般質問を行い、最終日の22日には、各常任委員長から付託された議案の審査経過と結果の報告の後、質疑、討論が行われ、上程議案23件を原案どおり可決、継続審査となっていた陳情2件を不採択とし閉会しました。

北村博司議員

紀勢自動車道延伸を控えて

問

平成25年の3月頃に紀伊長島インターチェンジが予定どおり開通することを前提にして申し上げますと、観光客を呼び込むことが、一番大事なことだろうと思います。

本町には、熊野灘大規模レクリエーション緑地計画に基づき、城ノ浜、片上、大白地区に公園が整備されており、受け皿の1つと考えます。

整備状況と今後の見通しについて伺います。また、魚まちの魅力アップや観光スポットとしてメロディーロードの整備について町長のお考えをお聞きます。

答

町長 熊野灘レク都市公園の整備状況ですが、

三重県では、城ノ浜、片上、大白の3地区については、重点区として位置づけています。

城ノ浜地区及び片上池地区は、

ほぼ完了しており、大白地区については、平成24年度を目途に多目的広場の整備を完了する予定となっています。

来訪者を増加させるためには、あらゆる機会にレク都市公園の魅力情報を発信していくことが重要と考えます。

紀伊長島区の魚まち魅力アップについては、古道魚まち歩観会が「熊野古道のロマンと漁師町の温もりとふれあい」がもたらす安らぎの交流空間づくり」をテーマに住民主体のまちづくりを目指すために各種の活動を行っていただいています。

今後ともご意見を参考にさせていただきます。魚まちの更なる魅力アップに向けた施策を講じていきたいと考えています。

議員ご提案のメロディーロードの整備については、自動車の走行音が音楽を奏するように工夫された舗装道路で、制限速度で走ることにより、速度超過を抑制する効果があると聞いています。三重県が管理します臨海公園の園路等での設置について、尾鷲建設事務所と協議を行いたいと考えています。

防災対策について 避難タワー (呼崎地区)

問

①紀伊長島区の呼崎地区は、海岸に面し、周辺が3つの川に取り囲まれていることに加え、平坦地で近くに高台や公共建物がないことから、津波発生時には、大変危険な地域です。津波避難タワーの建設が緊急課題と考えますので、具体的な計画についてお尋ねします。

②紀伊長島区の海野漁港西側堤防下の河川に水門がありませんが、津波発生時の対応をどのようにお考えかお聞きます。

③3月11日の津波警報発令に伴い、避難指示が発令されましたが、防災マップに記載されていない指定施設に避難された方がいたと聞いています。防災マップと避難所の見直しについて、町長のお考えをお聞かせください。

④東日本大震災による被災地の小学生・中学生の受け入れについて、町長のお考えをお聞きます。

答

町長

① 昨年、過疎計

画の設定にあたり、津波避難タワーの整備についても盛り込んでいます。ただ、町内には、海岸部に面している地域が多く、優先順位をつけて整備する必要があります。

検討地区の1つとして当然、呼崎地区も含まれていることから、担当課においては、呼崎区とも会議をしています。具体的な計画は、様々な角度から調査、研究をしていく必要があると考えています。

② 紀伊長島区の海野漁港西側堤防下の河川については、水門がないとのことですが、現場を確認しまして、対応を検討したいと思っています。

③ 東日本大震災による津波は、想定を超える大きなものであったことから、全体的な観点で今後検討が必要だと考えています。

④ 被災地の小学生・中学生の就学支援については、国・県の動向を見ながら、そのような機会があれば取り組んでいきたいと思っています。

平野隆久議員

平成23年度の町長所信表明について

問

町長の所信表明から次の点をお伺いします

で、的確で明解な答弁をお願いします。

① 自主防災組織の強化を図ることが重要とありますが、今までの防災研修会等の効果をどのようにに防災対策に生かしているのかお聞かせします。

② 一昨年6月の紀伊長島区における急傾斜地崩壊対策事業（民有地部分）をどのように進めるのかお答えください。

③ 町の道路事業は、過疎対策事業債やきめ細かな臨時交付金を活用して整備を進めています。計画内容についてお伺いします。

④ バス試験運行の町民アンケートは、どのような方を対象として、何人に行ったのか。また、運行の行程についてもお伺いします。

⑤ 高速道路延伸に伴う観光客を呼び込む施策と並行して、地元

での購買率を向上させることも重要だと思いますが、その施策をどのように考えているのかお伺いします。

⑥ スポーツ振興、スポーツ交流の具体策についてお聞かせします。

答

町長

① 本町では、三重大学並びに中部電力株式会社と連携し、地域貢献活動

防災力アップ事業に取り組んでいます。極門の閉鎖訓練、手作り防災マップの作成等に効果があったものと認識しています。

② 急傾斜地崩壊対策事業として三重県において施工されたところ。なお、事業用地の取得については、用地買収を行い、実施していくことを基本としています。

③ 紀北町第1次総合計画の中で実施計画を策定しています。公表はさせていただいてはいますが、担当レベルの中で3カ年の計画を持っています。

④ 平成21年11月現在の町内世帯主2千人を対象に、郵送により配布し、回収する方法で実施しました。運行予定は、紀伊長島区の海野、中ノ島地区を走り、JR紀伊長島駅まで運行する海

野線と海山区の木津、便ノ山、小山浦を経由して、役場まで走る便ノ山線です。

⑤ 人口減少は、商店、飲食店等地域の人たちによって支えられた店舗にとっては大きな打撃となります。大型店の進出等もあり、小規模店舗は大幅に減少しました。

打開策として、交流人口を増加させるための各種施策を行っているところで、縮小した地元消費を町外の方々によって支えていただくことを考えています。

⑥ 本年度の新たなスポーツ施策として、体力づくりや健康づくりに励みたい方を対象とした紀北健康スポーツクラブを2月に発足させました。スポーツ交流事業では、町外のチームを招いて交流大会を主催する団体に、運営費の一部を助成し、競技力の向上と青少年の交流を推進していきます。

老人ホームの今後について

問

赤羽寮の今後の運営については、横断的なプロジェクトチームで対応していきます。

たいと平成21年12月定例会において答弁がありました。プロジェクトチームでの議論は、今、どこまで進んでいるのかお伺いします。

答

町長

平成22年度中は、調査研究期間をいた

き、最終的な結論を出したいと考えていましたが、この1年間は、現在、入所されている方の安全・安心を最優先に考え、早急に改修が必要な場所について、早期に予算化してきました。

ユニット型施設への改築や入所者の費用負担の増加等の課題があり、方向性を決断するには至っていません。

プロジェクトチームは、まだ立ち上げるところまで至っていないのが現実です。

地域協議会について

問

① 地域協議会が両地区に設置されてから5年が経過しました。地域会議でどのような意見や要望があり、それらに対する達成率についての答弁を求めます。

② 住所表記の簡素化の今後の見

通しについてお伺いします。

答

町長 ①両区の地域協
議会からは、町全体の

方向性について、各事業を大きくとらえた中で、多くの意見を賜っており、町民の皆様からの要望や緊急性、効果等を総合的に判断しながら、施策に反映していることから、事業の達成率を具体的な数値で表すことは難しいと考えています。

②住所表示の簡素化については、地域自治体を解消する必要があると思いますが、この議論については進んでいない状況です。

玉津充 議員

平成22年度施策と平成23年度予算の関連について

問

町長は、所信表明で紀北町第1次総合計画の基本目標に沿って重点施設を述べられました。

しかし、平成22年度の尾上町

政の新規施策のくるまぎ会議等の実施成果はどうであったのか。その結果と、平成23年度予算の関連についてお聞きします。

答

町長 就任直後の平成22年度当初予算編成で

は、

①紀北中学校の改築

②放課後児童クラブの推進

③乳幼児医療費の入院にかかる無料化の対象年齢の引き上げ

④小中学校の就学援助費における給食費の全額負担

⑤腎臓機能障がい者の通院助成金の見直し拡充

⑥くるまぎ会議の設置、開催

の6点を重点施策としました。特にくるまぎ会議については、町と行政との協働により、地域の特性を活かした元気なまちづくりを行うにあたり、よく町民から意見を聞くことを目的とした会議で、一般公募の委員と知識経験を有する方々で組織されています。

これまで銚子川流域の魅力アップ、紀北町まるごとブランド化、行政サービスのあり方についての3つのテーマについてご意見をいただきました。

平成23年度は、銚子川流域の福祉健康ゾーンとしての位置づけも含め、温浴施設等の整備について基本計画策定の予算を計上させていただきました。

また、紀北町まるごとブランド化についても地域ブランド推進事業補助金により、ブランド事業の立ち上げを支援していきたいと考えています。

行政サービスのあり方についても、ご意見をいただいていることから、さらにくるまぎ会議のテーマを呈し、今後もより具体的な意見をお聞きしながら行政サービスの向上を図っていきたいと考えています。

雇用対策事業について

問

本町の町民ニーズの第一番目は、若者の働く場の確保ですが、現状では特効薬がないのも事実です。このことから、次の2つのことをお聞きします。

①平成22年度の企業訪問の結果と現存企業の育成及び企業誘致の今後の進め方についてお聞きします。

②雇用情勢を改善するためのふるさと雇用再生事業及び緊急雇用創出事業は、期間限定の継続事業だと思いますが、この事業の現状についてお聞かせください。

答

町長 ①昨年、企業8社を訪問し、経営者の

方々から経済情勢や経営状況あるいはご要望をお聞きしてきました。

町としては、県の企業立地室や関連部局との連携のもと、企業経営や雇用促進に向けた国・県の支援策等の情報も適時お伝えしているところで、紀北町のPRとともに、工場等の誘致に向けてより一層努力をしていきたいと考えています。

②ふるさと雇用再生特別基金では5,093万円を予算化し、4事業9名の雇用創出を計画しています。緊急雇用創出事業については、2,449万4千円を予算化し、5事業延べ16名の雇用創出を計画しています。

三重県から補助を受けて実施する事業は、平成23年度までとなっています。

本庁舎移転推進事業について

問

本庁舎移転事業についてですが、現庁舎の活用や行政機構がどうなるのか。

また、財政は大丈夫なのか、2点についてお答えください。

答

町長 ①合併協定書に

おいては、組織機構は総合支所方式を採用し、住民福祉の増進に十分配慮した効率的、効果的なものとしており、基本的には、引き続きこの方式を採用していきたいと思っていますが、昨今の社会情勢の変化や、行財政改革を進める中での職員数の削減等を見たとき、紀北町としての行政組織、組織機構が最良なのか、再度検証する必要があるとも考えています。

現庁舎移転後の姿についてですが、新庁舎を旧尾鷲高校長島分校跡地に移転すれば、紀伊長島総合支所や本庁舎、町民センター、老人福祉センターの一部、教育委員会事務所等かなりのスペースが空くことになります。

このようなことから、昨年8

月に課長補佐、係長級で組織する「庁舎移転検討チーム」を立ち上げ、組織機構、行政組織、新庁舎及び海山庁舎の配置、紀伊長島総合支所等の利用・活用について検討を行い、検討結果を基に課長において、さらに検討しているところです。

②財政については、平成25年度以降は、極力、起債借入額を一定額に抑制する予定です。

平成28年度からは、普通交付税の合併算定替えが段階的に削減されることや国勢調査人口の減少により、収入の確保が厳しくなりますが、一部基金の取り崩しを行い、歳入歳出の均衡を保つ等、現在の基金積立金の中で対応できるものと考えています。

地方バス運行対策事業

問

地方バスの運行事業については、バス空白地域の試験運行として2つの地区で実施される計画になっていますが、事業を継続していくための採算性と来年度以降の展開についてお聞かせください。

答

町長 地方バスの運行は、民間事業者では、採算を取るができないとして、バスが運行されていない地域の方々の移動手段を確保するため、運行するものです。

運賃は、既存の路線バスと同等程度を負担していただくことを計画しています。

したがって、地域の実情に見合った合理的、経済的な運営を目指していきたいと思いますが、採算性を追求することには限界があると考えています。

来年度以降の展開については、平成23年度の試験運行結果を検証し、結果が良ければ運行を継続しますが、芳しくなければ、改善策を検討することになろうかと思っています。

地震が発生すれば、被害予測はこのたびの東日本大震災と同じような状況になる可能性があると言われています。

本町においても計画的に整備事業等を実施し、避難場所機能の充実を図っていますが、大規模な災害で水道の配水管が破損した時の対応はどうするのか。

修理に必要な工事業者の手配や資機材の準備はどのようになっているのかお伺いします。

また、避難場所の停電時には、照明等の電力を確保する必要があります。

電力を確保することで、暗闇からの不安解消やテレビ等からの情報が得られることや、冷暖房の確保になる自家発電装置の設置が必要だと思いますが、公共施設の避難場所にどれだけ設置されているのか、その点についてもお伺いします。

中本衛議員

防災対策の充実について

問

①本町においても東海、南海、東南海連動型

答

町長 大規模災害時における水道工事の対応ですが、初動対応としまして、町内の水道業者に応援要請を行って復旧作業にあたることとしています。

また、水道課における資機材

の準備状況ですが、漏水事故に対応できる資機材は、たえず確保していますが、大規模災害に備えた資機材の確保は難しいものがあります。

修繕用資機材保有状況及び稼働人員については、町、業者を合わせても限りがあることから、災害の規模により、自己修復が困難であると判断した場合には、三重県水道災害広域応援協定や中部地方9県の自治体で締結しました日本水道協会中部地方支部災害時総合応援に関する協定等に基づき、他の自治体に対して応援要請を行うことになっています。

次に、避難場所の発電ということですが、町内には84の避難場所がありますが、地震、大雨等の避難場所には、発電機が整備されていないのが事実です。

しかしながら、防災倉庫、津波避難ステーション、自主防災倉庫等に合計67基の発電機を配備して、避難所での活用も視野に入れて、災害時に備えているところです。

バス停の利便性について

問

役場前の三重交通バス停を利用されている方がバスに乗り遅れた場合、2時間待たなくてはなりません。バスの見えるところに椅子や日除け、雨宿りができる施設の設置要望が出されていますが、町長の考えをお伺いします。

答

町長 議員ご指摘の役場本庁前のバス停ですが、これは三重交通の路線バス、島勝線のバス停です。

停留場への日除け等の設置については、スポンサーが広告用に設置しており、三重交通が設置しているものはないとお聞きしています。

このバス停は前面道路の幅員が狭く、歩道も1人が通るのがやっとの広さしかなく、現状ではベンチや日除け等の施設を設置できる環境ではないのが現状です。

議員がおっしゃったように、バスの来るのが見えないところで待っているのが、不安との声

もありますので、バス停に隣接する役場駐車場の一部を活用して、ベンチを設置することを検討したいと思います。

瀧本攻 議員

景気雇用経済対策について

問

平成23年度の予算を見る限りにおいて、国や県からの補助金でやっているだけで、本町としての本当のオリジナルのアイデアが出てきてなく、これでは町の夢が描けません。その点と、有効求人倍率について、町長、副町長は、どういうお考えを持っていますか。

答

町長 オリジナルアイデアについては、平成24年度から地域自主戦略交付金による一括交付金化が実施される予定のため、当地域にとって必要な投資事業に対し、積極的な取り組みが行えるよう検討を行っていく必要があると考えています。また、尾鷲公共職業安

定所における1月の正職員求人倍率は、0・56倍で、前月をわずかに上回ったものの、依然として低く、求職者に大変厳しい状況が続いていると推察されます。

副町長

自主財源をなるだけ有効に使うという観点から、国の交付金とか県の補助金とかも、できるだけ紀北町に持つてくることが重要な要素であり、ひいては、紀北町の事業規模の拡大につながるという点をご理解いただきたいと思います。

希望の持てるまちづくりについて

問

重要課題の取り組みに何も具体性がなく、町民は希望を持っていません。自治会から上がってくる要望書が270件あっても、その積算資料を作っていません。希望の持てるまちづくりとは、どういうまちづくりなのかお聞きします。

答

町長 紀北町が将来にわたって明るく元気な町、住み続けたい町、子供たち

に住んでほしい町という思いで、当初予算編成にあたっては、住民目線に立った新たな課題や住民ニーズへの対応に努めるとともに、紀北町の将来を見据えた重要な課題に取り組んでいくこととし、必然性や緊急性のあるものから行っていくことが大事だと思しますので、ご理解いただきたいと思います。

住民の目線、自然の鼓動を聞き、みんな集い、にぎわう、やすらぎのあるまち

問

住民の目線は、前奥山町長も言っていたことで、すばらしい文句ですが、住民目線といいながら、考えているようで考えていません。自然の鼓動を聞き、みんな集いにぎわう、やすらぎのあるまちづくりとは、私たちは自然の中にあるということですか。日本で、こういうことをしているところがあれば教えてください。

答

町長 自然の鼓動を聞き、みんな集いにぎわう、やすらぎのあるまちは、議員や

町民の皆様も参加したうえで、こういった町にしたいと詰めたコンセプトであり、日本にこのような町があるのかは存じませんが、自分の町がこういう町になればいいということ、第1次総合計画の基本計画に基づいた予算編成、事業等を行って、いるつもりですのでご理解をお願いします。

損害賠償請求事件について

問

損害賠償請求額は、その遅延損害金も入れたら50億円くらいになると思いますが、そういうことでよろしいでしょうか。また、対策チームで主にとどのような議論をしているか教えてください。さらに、一審判決はいつごろになるか教えてください。

答

町長 対策チームの位置づけは、職員の中で認識が足りない部分もあり、準備書面等を検討し、意見交換したり、町民の皆様はどういう方法でお知らせすればいいかというようなことを勉強しています。

また、5月と9月の口頭弁論の日は決まっていますが、判決の日には、今のところわかりません。

水道課長

平成23年1月11日の原告準備書面により、損害額が49億6,307万493円と遅延損害金になります。遅延損害金については、現在計算中ですが、年5%で計算しますとかなりの金額になると思われます。

情報公開誌の発行について

問

ニセコ町のような情報公開誌を発行する意思はありますか。

答

町長 現在のところ発行する予定はありませんが、行政報告会を行い、それに伴ういろいろな説明や書類を作りますので、そういったものが、情報公開誌とまではいきませんが、まず第一段の情報公開の基になると思います。

地域協議会の公募制について

問

地域協議会の公募制について、耳あたりのいい人の意見だけを聞くのではなく、耳あたりの悪い人の意見も聞く必要があると思いますので、公募制にはどうですか。

答

町長 地域協議会については、現状のままでありますが、公募制は、これから増えていくと思いますし、くるまざ会議を公募制にしたのもその一環です。

伸によるプラス効果を高める戦略的な取り組みが重要と考えますとありますが、具体的な施策をご説明ください。

答

町長 平成23年度に戦略的に取り組もうとしている事業は、大きく分けると3つの形態があります。その1つが、観光地としての魅力をアップさせるための人材育成とPRの委託事業です。ふるさと雇用再生特別交付金事業を活用し、町観光協会に対し、2,769万円を予算化し、6名を雇用して専門的な人材確保を図りながら、新たな観光ルート開発や体験事業の実施、紀北町のファンクラブの設立、各種メディアへの情報発信等の事業を行います。またFM三重には2,323万円で、ほっと紀北町という番組の制作・放送を依頼し、紀北町の魅力を発信していきます。2つ目は、燈籠祭や大白祭等集客・交流のための補助金1,059万円を交付し、民間の方々の力を結集したイベントを支援することで、紀北町の魅力アップにつなげるものです。3つ目は、町が直接実施している

事業で、古里温泉、キャンプinn海山、島勝浦自然体験型交流施設等で、観光費の総額では、1億4,907万円、前年度比30・8%増、またブランド化のための補助金50万円も予算化しました。

町道長島駅山本線の 県道昇格について

問

現在、高速道路延伸対策として、玉地区の商業者を中心とした地域の方々が、長島駅前玉地区活性化委員会を組織して、景観美化及び多用途空間の創造に取り組んでいます。また、この地は、交通アクセスの接点でもあり、商業集積地となるよう日々努力しています。そこで、より良い町にすべく、町道長島駅山本線が県道に昇格するという話を聞きましたが、それが事実なのか、もし事実であれば、今後の計画について説明してください。

答

町長 町道長島駅山本線は、J R 紀伊長島駅から国道42号へ接続する延長430mの路線で、平成24年度

に供用が予定されている近畿自動車道の紀伊長島インター線にも接続する重要な幹線道路です。一方で、同じくJ R 紀伊長島駅から国道42号へ接続する道路として、庁舎移転予定地の旧紀伊長島高校前を通る県道三戸紀伊長島停車場線があります。この路線は以前から三重県より町道移管の協議があり、三重県と紀北町の間で、県道三戸紀伊長島停車場線を町道に、町道長島駅山本線を県道として道路を振り替える協議を重ねています。町道の廃止及び認定は議会の議決が必要ですが、具体的な時期については、紀伊長島インター線の供用に合わせ、平成24年度になると考えています。

東貴雄 議員

紀北町第1次総合計画の住民アンケート調査結果について

問

平成23度の紀北町第1次総合計画後期基本計画

策定について、その住民アンケート調査結果について、
①アンケート結果で第1位になっていた働く場につながる企業誘致について、町長の企業誘致に対する基本的なお考え方を教えてください。
②企業誘致と大変密接な関係があると思いますが、若者の定住対策について町長のご意見をお願いします。
③救急医療体制について、町長の所信表明の中にある、救急業務として、救急隊員の高度な技術の取得と、医療機関との密接な協力体制の構築の推進について、町長が考える、町としてかわれる救急医療について教えてください。

答

町長 ①以前から県等との連携のもと、企業誘致に向けた対策に努めてきていますが、昨年から、県内の企業に対して、直接企業訪問を実施し、紀北町のPRとともに、工場等の誘致に向けた積極的な取り組みを始めているところです。現時点では、企業側の反応の大変厳しい状況ですが、今後、一層努力していきたいと考えて

近畿自動車道紀勢線 延伸に向けての町の 対応策について

問

平成23年度所信表明で、町政運営で留意することの2点目に、近畿自動車道紀勢線沿線への対応とあり、延

います。一方、厳しい経済情勢が続く中、必死に経営努力を続けられ、町内で多くの雇用を支えていただいている町内の企業に対する支援も重要です。昨年、町内の大手製造業等の経営者の方々から、直接経済情勢や経営状況、ご要望をお聞きし、担当課においても、企業経営や雇用促進に向けた国・県等の支援策に関する情報も適時お伝えしています。今後、一層企業の皆様方とも連携を密にしながら、雇用の確保につながる企業誘致や企業の育成支援へ取り組みを強化していきたいと思っています。

②若者が定住するためには、働く場の確保が重要な対策であり、そして、子育て支援教育の充実、住環境の整備等が必要であると考えています。平成22年度から新たな地域における子育て支援として、放課後児童クラブを町内2カ所に設置しています。そして、安心して出産ができるように、公費による妊婦健康診査の負担軽減、乳幼児医療の無料化や、今年度から入院に限り、小学校6年生まで無料化を拡大したところです。また、

次代を担う子どもたちが基礎学力の充実と個性の伸長を図りながら、安全で安心な学校教育環境の整備について、紀北中学校の改築終了後、全ての学校施設耐震整備が完了し、また、交付金を活用して、各学校の修繕整備も行っています。住環境の整備については、空き家バンク制度を平成20年度からスタートし、全国からの問い合わせも多くなっています。今年度は、物件の調査を行い、持ち主の方への空き家バンク登録意向調査を実施し、登録物件を増やし、1世帯でも多くの方々に来ていただくと思っています。

③通報体制については、1人暮らしの高齢者の緊急通報装置設置や配食サービス時の見守り事業等での対応をしています。今後は、民生委員の方々と連携して、緊急通報装置を設置していない要援護者の把握に努めていきます。次に、診療等については、一次救急医療の休日診療に、紀北医師会、二次救急医療の病院群輪番制病院として、尾鷲総合病院にそれぞれ担っていたいただいています。次に、応急処置については、自動体外式除細動機

AEDを町内の各学校等公共施設30カ所、医療機関等14カ所に設置しています。搬送体制は、救急車及びドクターヘリで行い、救急救命士は、町内に8名が配置されています。現在、和歌山県立医科大学が運行するドクターヘリにより対応しています。が、今後、三重県においても平成24年2月ごろの運行開始を想定して準備を進めています。

入江康仁 議員

12月議会にて質問したことに対する事業の進捗状況など、また予算付に対して

問

①町民が気兼ねなく町長や職員に対して、紀北町への思いや意見、要望を伝えるための目安箱、意見箱、要望箱というようなものを置くことを、町民に代わって要望しました。がどうなっていますか。

②戦後65年、紀北町の振興に頑張ってきていただいた高齢者の

方々のための老人ホーム赤羽寮の改築について。

③高齢者の足となるべき巡回バスについて。

④やすらぎ苑のマイクロバス補助金2万円が予算案に上がっていませんが、どのように考えていますか。

⑤防災につながる街灯について。

⑥地場産業の振興における、引本湾、矢口湾の利用による水産業の振興について。また、長島漁港の振興と漁獲高の振興について。

⑦紀北町を担う若い人たちの雇用と少子化問題について。

以上、12月議会にて質問した進捗と実施状況についてお答えください。

答

町長 ①目安箱等については、アンケートを用

意して、それに対して投稿していただくという形を考えています。

②老人ホームについては、住んでいる方の生命を守るために、住環境の確保等を行い、今年度は、床の改修を行います。

③巡回バスについては、買い物と通院を目的として午前中に往

復5便のバスをやって行きます。

④やすらぎ苑助成については、残念ながら今年度の予算にあげることができませんでした。

⑤街灯については、本年度予算でソーラー用13基を重点的に避難所の近くに付ける予定です。

⑥地場産業については、第一次・二次・三次産業を第六次産業化して、地域のブランド化や価格の安定等を図っていききたいと思っています。また、漁業関係では、築いそ等いろいろな施策を本年度予算に盛り込んでいきます。

⑦若者に対する対策は、子育て支援や就職の場を確保することについて、本町では例として、介護施設も1つの雇用の場の受け皿となっていると考えています。

水道行政に関して

問

私は、紀北町水道水源保護条例は、紀北町民に不利益をもたらす条例ですから、廃案にすべきだと思っています。平成22年6月に紀北町水道水源保護条例として一本化されましたが、その一本化に際し

て、最重要問題ですから、当然町長が陣頭指揮をして、どのような職員を入れて協議したのか答弁をお願いします。

答

町長 水道課を担当に、弁護士の皆様にも相談し、議会全員協議会を3回開催させていただき、十分ご議論いただきました。また、住民の皆様にも広報によるお知らせや、水源保護地域を示す図書を縦覧に供しました。

水道課長 条例の経緯ですが、まず、平成21年に、弁護士、水道水質の精通者、水域環境学専門学者、住民代表等で構成する検討委員会を2回開催しました。その後、津地方検察庁と罰則規定等による協議を行い、また、条例の内容については、弁護士等とも調整を行いながら進めました。

損害賠償訴訟について

問

これまでの準備書面の中で、県の職員の審査能力がないとか書かれています。が、三重県の許可権を与える専

門の担当官です。この担当官が産業廃棄物の専門家ではないと言いつつ、紀北町の水道水源保護条例の水道水源保護審議会委員に、三重県の尾鷲農林水産商工環境事務所の環境室、環境課長を委嘱しているのはどういうことですか。

答

町長 専門家ではないといいつつ、いろいろな方にも入っていただいていますし、審議会自体は、この皆

様で審議していくことになったなら、参考人も呼んで、審議していただくというような条例のあり方になっていきます。また、三重県とは、いろいろな面でご指導いただいています。

松永征也 議員

施設より在宅サービス

問

誰もが長年住み慣れた我が家で、いつまでも暮らしていきたい。ほとんどの高

齢者はそう望んでいます。すべての人々が個人として尊重され、家庭や地域の中で障がいの有無や年齢等にかかわらず、その人らしく安心して幸せな生活が送れるよう、地域福祉の充実が重要です。そのためには、行政による在宅サービスの充実と、社会的な支え合いが求められることから、次のことをお聞きます。

①社会福祉法で定められている地域福祉計画の策定について、県下市町の3分の2で、すでに策定されていると聞きますが、本町はなぜ策定しないのかお聞きます。

②ふれあいサロンのような高齢者の交流の場を町内に広げていくべきだと考えますが、町長の考えをお聞かせください。

③地域包括支援センターの充実を図るべきだと考えますが、町長の考えをお伺いします。

答

町長 ①地域福祉計画は、社会福祉法第107

条に掲げられていますが、計画策定の義務付けはなく、地方の自主性、自立性に配慮した努力規定となっています。本町では、

昨年度に次世代育成支援対策地域行動計画を策定し、本年度は紀北地域障がい者福祉計画を策定中です。また、来年度には紀北町障がい福祉計画、紀北町高齢者保健福祉計画の策定が義務付けられています。地域福祉計画については、現在策定中のこれらの計画との整合性を図ることが必要です。また、策定済みの市町等の計画内容などの調査、研究を実施したうえで、計画の実効性や策定期間についても決定していきたいと考えています。

②ふれあいサロンは、社会福祉協議会とボランティアの方が中心になって開催していただいております。平成21年度町内で19回開催し、参加延べ人数は686人でした。開催場所は、海山区が相賀、引本の2カ所、紀伊長島区は4カ所と、確かに一部地域となっています。今後は、町内全域に広げていくよう関係者とも相談して努力します。

③地域包括支援センターは、紀北広域連合が社会福祉協議会に委託して運営しています。保健師、社会福祉士、介護支援専門員等の専門的な知識を持つ職員

5名を配置し、住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行う目的で、老人の総合的な相談業務や高齢者虐待への対応、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援する業務を行っています。包括支援センターも開設後5年を経過、徐々に浸透し、相談件数も増加しています。

農工商等連携による活性化について

問

これからの農業はただ生産するだけの農業から脱皮して、異業種との連携や新種作物の導入等、大きな過渡期にあると思っています。国においては、平成20年7月に農工商等連携促進法を制定し、国及び地方自治体にその活性化を推奨するとともに、支援に努めることが位置付けられています。農工商等の連携は言うまでもなく、第一次・二次・三次産業の連携を図ることによって、所得の向上や地域の活性化と雇用の拡大にも努めていこうとするものです。本町の特性を生かして積極的に取り組んでいくべきだ

と考えますが、町長の所見を伺います。また、特産品の開発や新種導入等の調査研究には、産学官連携が必要であると考えます。三重大学等との連携を図れないものかと考えますがいかがですか。

答

町長 最近では有機栽培等、他との違いやつくり手のこだわりを前面に出し、素材だけでなく加工する等、いわゆるブランド化や第六次産業化により、生産者側で価格を決める方法で販売し、収益性をあげている事例を多数目にするようになりました。生産したものの、漁獲したものを素材として売り出すだけでなく、加工し、付加価値を加えて販売すること、いわゆる農商工連携による第六次産業化により、それぞれの分野において雇用が生まれ、地域の活性化につながっていくものと考えています。本町でも紀北町まるとブランド化と題して、くるまざ会議を開催し、各方面の方々から意見をいただいていますし、3月2日には、ブランド総合研究所の田中先生をお招きし、紀北町まるとブランド

化と題した講演会を行いました。来年度はその取り組みをさらに進め、民間のやる気のある方々が多数参加いただける研究会のようなものを立ち上げ、具体的な商品づくり、ブランドづくりに取り組むための予算化をしています。また、新規作物の導入や特産品販売開発を進めていくうえで、産学官の連携は必要であると考えていますので、必要に応じて三重大学等との連携も図り、産業全体の振興につなげていきたいと考えています。

奥村武生 議員

船津川支流（引本の側面を流れる川）の保全について

問

①約数カ月前、転落事故により、腕の骨折という事態が起きましたが、なぜこのようなことになったのか、経過を含めて説明願います。

②保全箇所をどう認識されているか。

ますか。津呂町の川岸が崩れたままになっているので、善処いただきたいです。

③松島橋を修繕するにあたり、現状の構造でいいのか。また、どのような検討をされたかお聞きます。

答

町長 ①引本港海岸施設の階段で発生した転落事故については、どのような状況で事故が発生したのか把握はしていませんが、けがをされた方には、たいへんお気の毒で、お見舞い申し上げます。また、平成21年10月に引本自治会から、階段への手すり設置の要望があり、管理者の県に副申ししましたが、現時点で、まだ設置されておらず、引き続き県に要望しているところです。

②建設課と県の方で現場も見られたということで、町としては漁業者の方に危険があるという状況であれば、積極的に県の方に申し入れていきたいと思っています。

③平成21年度に実施した橋梁長寿命化修繕計画、橋梁点検業務において、松島橋の橋脚の腐食による損傷があることが判明し、

現在、補強工事を施工しています。今回の工事の目的は橋梁の延命化を図るための工事で、松島橋の構造を変えるものではありませんので、ご理解をお願いします。

奨学金について

問

奨学金の増額や返還の必要のない制度導入の予算要求を行ったかお聞きします。

答

教育長 奨学金制度が少しでも利用しやすくなるよう検討を続けており、昨年度は貸与者を増やし、今年度は貸与規定を一部改正して、今までより早く奨学金を貸与できるようにしました。また、返還の必要のない給付制度については、奨学金は返済額を貸与することで制度が成り立っており、返還の免除をすると制度が成り立たなくなります。返還免除制度は、細部にわたり調査のうえ、引き続き研究していくとともに、この奨学金制度については、まだまだ改善すべき点もあると思いますので、町長部局と

協議しながら、引き続き改善に努めていきます。

公立の教育施設について

問

なぜ、引本小学校の耐震にあわせて修繕をされなかったのか。一緒にすれば費用も少なく済んだはずですし、非常に残念です。今後、学校のいろいろな形の修繕・営繕をぜひ施工していただきたいと思いますがいかがですか。

答

町長 学校の耐震化計画は平成22年度までに子どもたちの安全・安心を守るということで進めています。教育施設の充実については、平成22・23年度にたいへん多くの予算を付けさせていただいていますので、相当充実するのではないかと思います。

公共交通機関に対する補助金について

問

路線バスに対して、補助金を出していますが、住民の意見を聞き取り、ダイヤ・

路線の充実について、検討会等をもたれたことはあります。

答 町長 今回、巡回バス

のこともあり、そういった地域に出かけてお話しさせていただきました。いろいろと交通会社の事情もあり、本数等も減ったところもあります。また、島勝等については、停車場線というか、バス停の考慮等、今回、巡回バスを検討するにあたり、いろいろとバス会社とも相談させていただいています。

熊野古道の位置付けについて

問 熊野古道は、本町を縦断しており、すばらしい観光資源にほかなりません。その観光資源の持ち味について、ご披露いただきたいと思います。

答 町長 熊野古道につい

ては、ツヅラト峠、荷坂峠、一石峠、熊谷道、始神峠、馬越峠の5つの峠が本町にあります。私自身まだ歩いていないところもありますが、それぞれ

が、それぞれの色彩や景色を持っていて、それぞれ味のある峠ではないかと思っています。

中津畑正量 議員

TPP（環太平洋経済連携協定）について

問 農林水産省では、TPPに参加した場合、食糧

自給率が急落すると算出しています。本町においては、水産、林業、農業が栄えてきた町ですが、住民が協力し合いながら生計を守っている現状で、今、TPPに参加したとき、たちまち生活が様変わりし、大きな問題になります。全国でTPP参加やめよの声が大きくなっているところでは、次の点について町長にお伺いします。

①町長のTPPに対する認識をお伺いします。

答 町長 ①TPP、環太平洋経済連携とは、加盟

国の貿易等の面で整合を図り、工業製品や農業製品等を中心に、例外品目を認めない形の関税撤廃を目指し、自由貿易協定を太平洋地域内で実現しようとするものです。国内では、この協定に加盟することで高付加価値のある日本商品や農産物を自由に売ることができ、競争力を強化できると加盟に積極的な人がある反面、TPPが実現すれば、海外の安い農産物や製品が輸入され、日本の産業や農業が崩壊するという理由で反対する人もおり、全国各地で熱い議論が交わされています。その中で、平成22年12月1日に全国町村長大会で、平成23年2月9日に全国町村長会議でTPP交渉への参加に反対する旨の提案が決定されました。農林漁業を基幹産業とする本町では、今後、国、県等の動向を注視するとともに、本町にあった方策について検討していきたいと考えています。

②TPPに参加した場合、国全体では実質GDPは2・4から3・2兆円増加します。関税を

撤廃し、何も対策を行わない場合、農林水産物の生産額は4・5兆円減少し、食糧自給率は40%から13%程度に減少するとされています。また、三重県が県内の農業への影響額を試算したところ489億円で、米に関しては98%の減少を予想しています。本町においては、その影響額の具体的な算出は難しい状況ですが、国や県の減少率を適用しますと、米では98%、柑橘類は10%、鶏肉鶏卵は20%ほどの減少が見込まれます。このように生産額に大きな打撃を受けることは、間違いないと予想されます。

「住宅リフォーム助成制度」の導入を!!

問 全国の多くの自治体で住宅リフォーム助成とい

う制度を導入する動きが広がっています。全国商工団体連合会の調べでは、全国で180以上の自治体がこの制度を実施しています。自治体によって補助率や限度額は異なりますが、この制度のいいところは、商品の購買連鎖が続くということです。

す。壁紙を新調すれば、新しいカーテンや照明器具を買うというケースや、また、別の場所も直すというようなケース等があり、私が聞いたところでは、最高の経済効果は、助成額の10倍から15倍になる自治体もあるようです。本町でも住宅リフォーム制度の導入に向け、適切な予算措置を求めたいと思います。町長のご決断を求めます。

答 町長 全国的に公共事業が減少し、地方の景気に大きく影響していますが、私もこれまでのように公共事業を継続することには限界があると

感じているところです。このような状況の中、全国の自治体で地域経済の活性化や波及効果が大きい住宅リフォーム助成制度が広がっていることは承知しています。この制度はリフォームしたい住民に、自治体が一定額の補助をするもので、工事を地元の中小零細建設業者に発注することから、建設不況で仕事が減っている業者から歓迎され、また、住民からも助成制度のある、この機会に思い切った家をリフォームしたいと歓迎

されるようです。たとえ短期的なものであっても、現在の経済対策よりも効果的で、広く公平性が保たれるものであると思います。地域の活性化に寄与するとともに、快適な住環境づくりを推進する制度ですが、制度対象となる要件の規定等も必要で、さらに予算の議会承認も必要なことから、一度検討させていただきます。

東篤布 議員

水谷建設株式会社の 協定違反問題！

問

中部国際空港埋立工事を目的として、水谷建設株式会社の土採りがスタートしましたが、現在に至るまでの経緯をご説明ください。

水谷建設株式会社と町、長島町漁業組合との間で交わされた協定書及び協議書がありますが、その説明と、その中の何が問題点かということについてお聞きます。また、この協定書、協議

書は、当然遵守されるべき、契約書だと理解していますが、どう思われますか。これらが遵守されなかった場合、町長は法的手段をも取る意思はありますか。

答

町長 現在に至るまでの経緯ですが、水谷建設株式会社は、採石法の規定に基づく採取計画認可申請と森林法の規定に基づく林地開発許可申請を行い、平成13年6月1日に

採石法にかかる採取計画面積は13万6,555㎡です。当初の採取予定量は約528万㎡でしたが、これまでの累加採取量は約149万㎡で、約28%の採取実績量です。現在、約72%残っている状況で、事業が遅れている要因としては、中部国際空港の埋立工事を目的にスタートした事業だと聞いており、事業が計画どおり進まなかったことだと考えています。

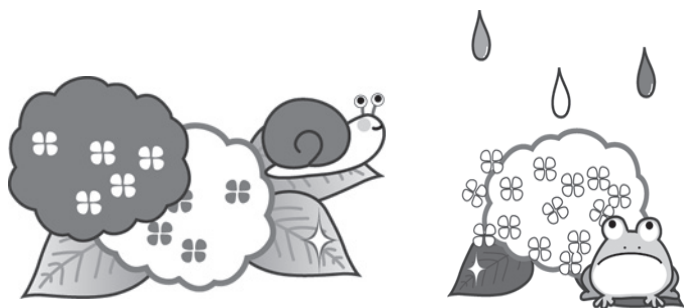
協定書及び協議書については、平成13年5月11日に、紀伊長島町と長島町漁協及び水谷建設との間で野々瀬地区土砂採取跡地及び近隣海岸の活用に関して協定書を締結しています。内容については、第1条と第2条では、採取跡地の切土法面の勾配等は三重県宅地開発等事業に関する技術マニュアルに基づいて行うことや、第3条では、採取跡地の活用について、水谷建設が緑地公園として、採取完了後の1年以内に整備することや、緑地公園の整備計画書を航空関連事業に土砂供給を開始後、速やかに紀伊長島町に提出し、協議することを定めています。第4条

が海域エリアを開放すること等が定められています。第5条では、水谷建設は緑地公園施設等が完成後、直ちに紀伊長島町に寄付採納し、引き継ぐと定めています。第6条では、緑地公園の管理運営等の費用は、水谷建設が整備及び維持管理基金として、相当額を紀伊長島町に拠出すると定めています。また、この協定書に基づく協議書が2通あり、近隣海岸及び海域エリアの開放について漁協が協力することや、土砂採取中及び採取後の汚水被害についてを町が立会人となって、長島町漁協と水谷建設が別途協定書を締結することを明記して、3者が記名押印した協議書と、緑地公園の施設の具体的な整備内容、水谷建設が緑地公園を町に寄付採納することを確約し、緑地公園等の維持管理費の金額を7,000万円（履行期限を10年）とすることや整備に伴う協力金1億円を土砂供給開始後6ヵ月以内に町に拠出することを明記して、町と水谷建設の2者が記名押印した協議書があります。また、基本的には、この協定書、協議書について、緑地公園として町に

た。以来、土石の採取認可期間が2年であることから、現在まで5回の採取計画認可申請が県知事に対して行われました。その都度、県から町に採取計画に対する意見が求められ、熊野灘レクリエーション都市構想との整合性や漁業関係者の活動に影響を及ぼさないこと、また、紀北町全域の住民生活に影響のないよう、万全の対策を講じるよう指導されたいとの意見書を提出しています。林地許可にかかる周辺の宅地及び道路等を含む全体の岩石採取場の事業区域は、紀伊長島区東長島字野々瀬3113の1ほか、19万9,249㎡で、うち

では、長島町漁協が近隣海岸及び

寄付採納することや、10年間の施設の維持管理費7,000万円等、守っていただかなくてはならないものです。このことについては、現在も弁護士等に相談させていただいていますが、守れないようであれば、裁判のことも視野に入れ、どういう方法でやればいいかということをお願いしたいと思っています。



町営バスの試験運行を 実施します

バス空白地の解消を目指して



移動手段確保の課題

自家用車を持つ方が多い中、バスを必要とする方は少ないのが現実ですが、自動車等の移動手段を持たないお年寄りや児童生徒等にとっては、バスは貴重な移動手段となっています。また、現在は車を運転する高齢者の中にも近い将来、バスの必要性を感じている方も少なくありません。しかし、本町には、バスが運行していないバス空白地が多く存在しており、この空白地の解消が課題となっています。

7月から試験運行

町では、バス空白地域を解消し、日常生活に支障をきたしている方たちの移動手段を確保するために、まず2つの路線をモデル路線として、7月から町営バスの試験運行を実施します。

1つは、紀伊長島区の海野から中ノ島、入江町、浦町、松本、中州を経由してJ R紀伊長島駅までの「海野線」です。もう1つは、海山区の木津から便ノ山、宇山、小山浦を経由して紀北町役場までの「便ノ山線」です。車両は、12人

乗り程度の小型車両で運行します。

このバスの運行目的は、平成21年度に実施した調査で、バスを利用したいとする理由の中で最も多かった「通院」と「買い物」としました。この運行目的に合わせて、運行回数は、週2回、1日3便とし、運行時間も病院の診療時間やスーパー等の開店時間に合わせ、午前中を中心に運行します。運賃は、既存の路線バスと同等程度の運賃とします。

今回のモデル路線の試験運行は、バス交通に関する住民アンケート調査や老人クラブでの聞き取り調査等に基づいて計画し、路線沿線の区や老人クラブの方たちとの協議を経て路線やバス停の位置、運行時間を設定しました。

運行開始後は、利用状況を検証します。利用状況が良ければ、そのまま運行を続けますし、悪ければ改善策を検討することにより地域にあった公共交通の確立を目指します。なお、その他の地域については、今回の試験運行の結果

をみて検討することになっています。

運行日や運行時間、運賃等の詳細は、広報きほく7月号でお知らせします。ぜひ、皆様のご利用をお願いします。

問い合わせ

本庁企画課企画係
TEL(32) 3903



映画「太平洋の奇跡ー
フォックスと呼ばれた男ー」
上映のお知らせ

教育委員会主催による映画
上映会を開催いたします。
皆様のご来場をお待ちして
います。

日時 6月8日(水)
午後7時

午後6時30分開場

場所 東長島公民館

入場券販売中

前売り 700円
当日 1,000円

(全席自由)

販売場所 東長島公民館、三

浦公民館、多目的会館、若者

センター、海山公民館、海山

郷土資料館、引本公民館、島

勝公民館、教育委員会(本庁、

紀伊長島総合支所)

問い合わせ

教育委員会本庁生涯学習課
TEL(32) 3915

教育委員会紀伊長島総合支所

教育室

TEL(47) 1111

まちづくりに関するアンケート調査の 集計結果をお知らせします



町では、第1次総合計画の後期基本計画を策定するにあたり、前期計画の評価をするとともに、住民の皆さんの意見を把握し、これからのまちづくりに反映しようと「まちづくりに関するアンケート」を今年2月に実施しました。対象は、紀北町に住所を有する20歳以上の男女1,000人ずつ合計2,000人で、無作為に抽出して郵送により配布しました。

その結果、838人の方から回答をいただきました。この集計の結果を報告します。

満足度と重要度

町の取り組みについての満足度は、上位3項目は、「上水道の整備状況」「自然環境の豊かさ」「ごみの収集・処理の状況」となっており、生活基盤や魅力的な地域資源への評価が高いことがうかがえます。一方で、下位の項目は、「交通機関の便利さ」「働きがいのある職場」「保健・医療サービスや施設整備の状況」となっています。

町の施策についての重要度は、上位3項目は、「火災や地震など災害からの安全性」「保健・医療サービスや施設整備の状況」「自然環境の豊かさ」となっており、安全・安心や魅力的な地域資源の充

実・確保へのニーズが高いことがうかがえます。

重要度の上位5項目と満足度を比較すると、「自然環境の豊かさ」と「ごみの収集・処理の状況」は満足度も上位に評価されていますが、「火災や地震など災害からの安全性」と「保健・医療サービスや施設整備の状況」は下位に評価されています。

施策への意見

重要度が高かった施策への意見は、消防・防災体制については、高齢者や障害者など災害時の避難に支援が必要な方に対する対策の充実が、保健・医療の分野については、救急医療体制の整備・充実が、環境を良くするための施策については、町民・事業者・町の自主的な取り組みが、最も高くなっています。



表4 満足度と重要度の比較

重要度も満足度も高かった項目
自然環境、ごみ収集・処理、上水道、人情味・連帯感、生活環境
重要度は高いが、満足度が低かった項目
消防・防災、保健医療、労働環境、福祉、交通機関、買い物利便性、防犯・交通安全、教育、道路整備、下水道、保育・子育て
重要度は低いが、満足度は高かった項目
墓地・火葬場、コミュニティ施設、広報
重要度も満足度も低かった項目
町営住宅、情報通信、スポーツ、公園・緑地・広場、生涯学習、芸術・文化、人権

表1 満足度の上位5項目

1	上水道の整備状況
2	自然環境の豊かさ
3	ごみの収集・処理の状況
4	墓地や火葬場の管理・運営状況
5	公民館や集会所などの整備状況

表2 満足度の下位5項目

1	交通機関の便利さ
2	働きがいのある職場
3	保健・医療サービスや施設整備の状況
4	日常の買い物の便利さ
5	火災や地震など災害からの安全性

表3 重要度の上位5項目と満足度

	満足度順位
1	火災や地震など災害からの安全性 21
2	保健・医療サービスや施設整備の状況 23
3	自然環境の豊かさ 2
4	ごみの収集・処理の状況 3
5	防犯・交通安全など災害からの安全性 10

満足度の経年比較

今回の調査は、前期計画を

策定した平成18年にも実施しており、満足度を前回の調査結果と比較すると、23項目の内6項目は下降していましたが、その他の16項目では満足度が上昇しており、全体的には満足度が上昇していました。

満足度の上昇が大きかった項目は、「火災や地震など災害からの安全性」、「公民館や集会所などの整備状況」、「道路の整備状況」で、下降が大きかった項目は、「日常の買い物の便利さ」、「生涯学習活動、芸術・文化活動や施設整備の状況」、「自然環境の豊かさ」でした。これと満足度の全体での評価と比べると、「火災や地震など災害からの安全性」は、全体評価では下位に位置付けられていますが、経年比較では最も上昇しています。一方、「自然環境の豊かさ」

は、全体評価では上位に位置付けられていますが、経年比較では満足度は下降している結果となりました。

紀北町のイメージ

紀北町のイメージは、「自然が豊かで美しいまち」が66・1%、次いで「水産業のまち」が64・6%と、この2つが群を抜いて高く、次に「農林業のまち」が34・7%、「人情味や連帯感のあるまち」が29・7%となっており、自然

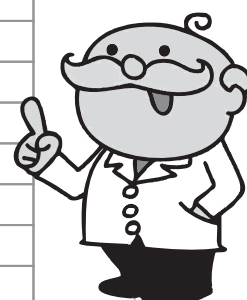
表5 紀北町のイメージ

1位	自然が豊かで美しいまち
2位	水産業のまち
3位	農林業のまち
4位	人情味や連帯感のあるまち
5位	故郷として自慢できるまち

表6 満足度の経年比較

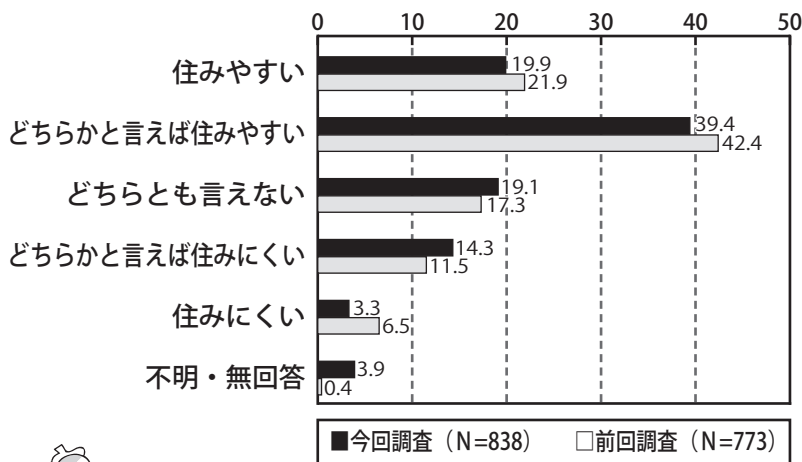
項 目		今回調査 (H23)	前回調査 (H18)	比 較
1	上水道の整備状況	74.4	70.0	4.4
2	自然環境の豊かさ	73.0	75.7	-2.7
3	ごみの収集・処理の状況	70.7	67.6	3.1
4	墓地や火葬場の管理・運営状況	65.9		
5	公民館や集会所などの整備状況	62.7	56.3	6.4
6	人情味や地域の連帯感	60.0	60.6	-0.6
7	騒音・振動・悪臭などの環境	59.5	58.1	1.4
8	行政情報や催事情報の提供状況	58.1	54.0	4.1
9	人権尊重の状況	51.7		
10	防犯、交通安全施設整備の状況	49.7	45.6	4.1
11	下水道の整備状況（合併浄化槽を含む）	49.7	45.0	4.7
12	保育・子育て環境	49.5	48.8	0.7
13	道路の整備状況	49.1	44.2	4.9
14	町営住宅の整備状況	48.8		
15	生涯学習活動、芸術・文化活動や施設整備の状況	47.5	50.6	-3.1
16	公園・緑地・広場の整備状況	47.3	44.7	2.6
17	インターネット環境など情報通信体系の整備状況	47.3	48.4	-1.1
18	子どもの教育環境	47.0	45.7	1.3
19	福祉サービスや施設整備の状況	45.9	47.7	-1.8
20	スポーツ活動や施設整備の状況	45.0	44.6	0.4
21	火災や地震など災害からの安全性	44.2	35.8	8.4
22	日常の買い物の便利さ	44.2	47.5	-3.3
23	保健・医療サービスや施設整備の状況	42.2	40.4	1.8
24	働きがいのある職場	33.6	31.4	2.2
25	交通機関の便利さ	30.8	28.7	2.1

環境や農林水産業と合わせ、地域のつながりのあるまちというイメージを持っていることがうかがえます。



※各項目の評価は、「満足している」=100点、「やや満足している」=75点、「どちらともいえない」=50点、「やや不満」=25点、「不満である」=0点として、合計点数を「不明・無回答」を除く件数で除して算出しています。

表7 紀北町の住みやすさ



紀北町の住みやすさ

紀北町の住みやすさは、「住みやすい」と「どちらかと言えば住みやすい」の合計が59・3%、「住みにくい」と「どちらかと言えば住みにくい」の合計が17・6%と回答しています。また、「どちらとも言えない」が19・1%となっています。

ていることから、『住みやすい』『住みにくい』という判断を下すことが難しいことがうかがえます。前回調査と比較すると、今回調査では『住みやすい』『住みにくい』ともに割合が低くなり、「どちらとも言えない」が高くなっています。

表8 今後、力を入れてほしい施策

1位	働く場の確保につながる企業誘致
2位	若者の定住対策
3位	救急医療体制の充実
4位	高齢者福祉対策の充実
5位	町営バスの運行



今後、力を入れてほしい施策

特に力を入れてほしいと思う施策については、「働く場の確保につながる企業誘致」が58・7%と群を抜いて高くなっており、次いで「若者の定住対策」が34・4%、「救急医療体制の充実」が28・

4%、「高齢者福祉対策の充実」が25・8%、「町営バスの運行」が21・4%となっています。前回調査と比較すると、いずれの調査でも「働く場の確保につながる企業誘致」「若者の定住対策」「救急医療体制の充実」などが上位を占めています。「国道・高速道路など幹線道路の整備」「防災対策の強化」では、割合が低くなったものの、「町営バスの運行」「救急医療体制の充実」「高齢者福祉対策の充実」などでは、割合が高くなっています。

まとめ

今回の調査結果により、紀北町は自然環境に恵まれ、上水道の整備、ごみの収集などの生活環境が充実しており、住みやすく、これからも住み続けたいと思われる方が多いことが分かりました。

その一方で、交通の便が悪い、若者の就労の場がないなどと感じている方も多いこと

から、それらの問題の改善に向けた取り組みが今後の課題であると思われます。

これらの結果につきまして、今後のまちづくりに反映させていただきます。

お忙しい中、ご協力いただき、誠にありがとうございます。

なお、調査報告書につきましては、紀北町ホームページに掲載いたしますが、本庁企画課及び紀伊長島総合支所総務室でお渡しすることも可能です。

ご希望される方はご連絡ください。

問い合わせ

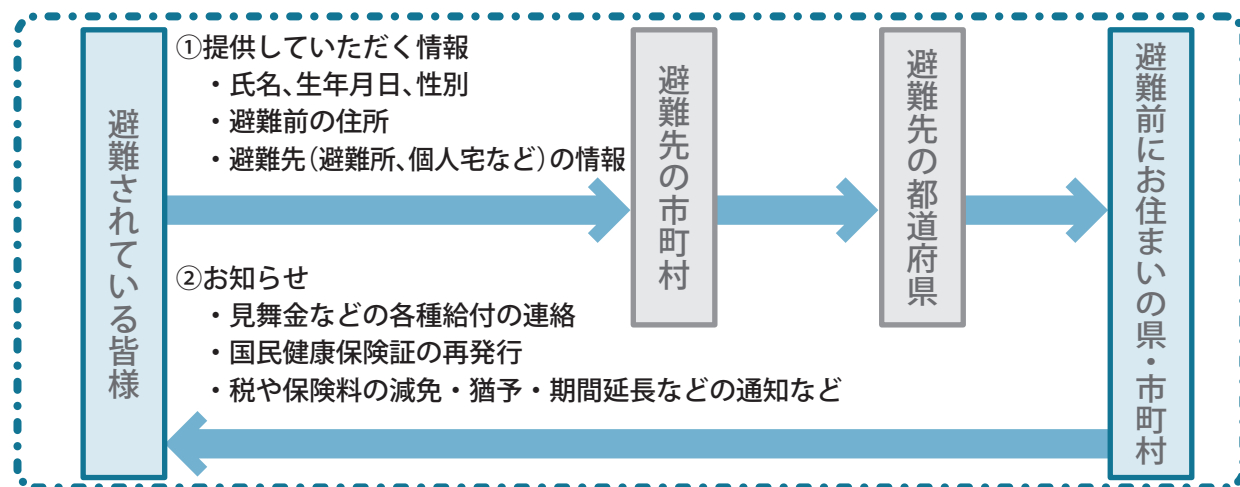
本庁企画課企画係
TEL(32) 3903



全国避難者情報システムについて

東日本大震災などにより、多くの住民の方々が全国各地に避難しており、住所地の市町村や県では、避難者の所在地などの情報把握が課題となっています。

そこで、避難者の方々から避難先の市町村へ任意に提出された、所在地などの情報を避難元の県や市町村へ提供し、当該情報に基づき、避難元の県や市町村が避難者への情報提供などを行うことになりました。（全国避難者情報システム）



総務省ホームページ

http://www.soumu.go.jp/menu_kyotsuu/important/kinkyu02_000082.html

紀北町に避難されている皆様へ情報提供のお願い

本庁住民課または紀伊長島総合支所住民室窓口で、所定の様式に①氏名、生年月日、性別②避難前の住所③避難先の所在地などを記入いただき、提出いただくことで、避難前にお住まいの県や市町村から皆様へ大切なお知らせをお届けできるようになりますので、避難者の皆様の情報提供をお願いします。提出時に本人確認ができるもの（運転免許証、パスポートなど）がありましたら、ご持参ください。

<お届けできるようになるお知らせ>

- 見舞金などの各種給付の連絡
- 国民健康保険証の再発行
- 税や保険料の減免・猶予・期限延長などの通知
- 被災者生活再建支援制度、仮設住宅、公営住宅の提供状況などの住宅支援関係の連絡
- 各種融資・補助制度の連絡
- 生活基盤などの整備計画についての連絡
- 避難元市町村の復旧・復興状況の情報提供 など

問い合わせ

本庁住民課住民係

Tel32-3907

紀伊長島総合支所住民室住民係

Tel47-1111

三重県政策部市町行財政室

Tel059-224-2171

INFORMATION



紀北町出前トーク ＜平成23年度版＞



町職員が皆様の主催する地域の集会・学習会などにお伺いし、テーマに沿ってトーク（対話）します。
町の施策や事業について何か関心のあるテーマはありませんか？

★皆様で考え、これからのまちづくりに活かしてみましよう！

▼申込期間：平成 23 年 6 月 1 日(水)～平成 24 年 2 月 10 日(金)

▼実施期間：平成 23 年 7 月 1 日(金)～平成 24 年 2 月 24 日(金)

☆申 込 対 象：町内在住または在勤の方（区・自治会、企業、NPO、仲間同士など）で、おおむね 10 人以上が参加する集会

☆出前トークの内容：平成 23 年度「紀北町出前トークテーマ」一覧表からお選びください。

☆開 催 日 時：土・日曜日、祝日及び 12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日までを除く午前 9 時から午後 9 時までの間で相談のうえ決定します。

☆開 催 時 間：30 分～90 分程度とします。

☆費 用 等：出前トークにかかる費用は無料ですが、それ以外の経費（会場使用料など）は依頼される団体でご負担してください。

☆お 願 い：この出前トークは、町民の皆様が主催する催しに、町の担当職員などを講師として派遣するものです。出前トークに関する質疑や意見交換を含みますが、個別相談を行ったり、苦情や要望をお聞きする場ではありませんのでご理解ください。

【申し込み・問い合わせ】

本庁企画課広報係 Tel32-3903 Fax32-2331
E-mail kikaku@town.mie-kihoku.lg.jp

平成 23 年度「紀北町出前トーク」テーマ一覧表

No.	テーマ	テーマの概要	担当課
1	紀北町の行財政改革について	紀北町行財政改革大綱及びアクションプログラム（集中改革プラン）についてお話しします。	総務課
2	紀北町の情報公開制度について	紀北町の情報公開制度の現状と今後のあり方についてお話しします。	総務課
3	紀北町の財政状況について	紀北町の財政状況についてお話しします。	財政課
4	地震津波対策について	地震・津波の災害から身を守るための方法についてお話しします。	危機管理課

平成 23 年度「紀北町出前トーク」テーマ一覧表

No.	テーマ	テーマの概要	担当課
5	消防・救急について	(救急講習) 公共施設などに設置されております AED の取り扱い及び心肺蘇生法についての指導とお話をします。	危機管理課
6	交通安全・防犯対策について	交通安全・防犯活動及び対策についてお話しします。	危機管理課
7	町内バスについて	町内バスの試験運行についてお話しします。	企画課
8	広報広聴活動について	広報きほく、紀北町ホームページや出前トークなどの広報広聴活動についてお話しします。	企画課
9	町税について	町税に関する基本的な事項についてお話しします。 (町民税、固定資産税、軽自動車税)	税務課
10	戸籍・その他の届出について	戸籍法、住民基本台帳法などに関する諸届けと本人の確認事項についてお話しします。	住民課
11	国民健康保険について	国民健康保険全般についてお話しします。	住民課
12	ごみの出し方 (分別・リサイクル)について	家庭から出るごみの出し方やリサイクルについてお話しします。	環境管理課
13	犬・猫の飼養、人との関係について	狂犬病予防法、犬・猫の基本的な性質や問題行動の予防についてお話しします。	環境管理課
14	健康づくりについて	健康づくりや疾病予防についてお話しします。	福祉保健課
15	獣害対策などについて	農林産物獣害対策事業を中心にお話をします。	農林水産課
16	森林のもつ公共性と植林を中心に施業の仕方などについて	林業の現状、森林のもつ公益的役割、植林・育林についてお話しします。現場説明も可能です。	農林水産課
17	漁港施設の維持管理の現状について	漁港施設の現状と今後のあり方についてお話しします。	農林水産課
18	悪質商法について	悪質商法などによるトラブルに巻き込まれないため、事例紹介や対策についてお話しします。	商工観光課
19	公共土木施設の維持管理の現状について	町と地域住民の関わりについてお話しします。	建設課
20	町営住宅の現状について	入居状況及び維持管理と今後のあり方についてお話しします。	建設課
21	教育委員会制度について	教育委員会の制度内容についてお話しします。	学校教育課
22	健康ウォーキングについて	いっしょに、健康ウォーキングを始めてみませんか。	生涯学習課
23	紀北町の文化財について	熊野古道など町内の文化財の保護についてお話しします。	生涯学習課
24	水道事業について	水道事業の概要、安全でおいしい水道水の供給などについてお話しします。	水道課

※「紀北町出前トークテーマ」一覧表にないものは企画課広報係までご相談ください。

エコ・バッグ(マイ・バッグ)を持って 環境にやさしい買い物をしましょう！



エコバッグ(マイバッグ)を利用し、レジ袋を受け取らないという一人ひとりの身近な取り組みが、ごみの減量化、地球温暖化防止につながります。

資源として考えると・・・

日本では年間約305億枚のレジ袋が使われており、原料から最終処分までにかかるエネルギーをすべて計算して原油量に換算すると、年間約4億2千万リットルになると言われています。レジ袋だけで1年間にこれだけ多くの資源が消費されています。

これを1人あたりになおすと、1年間で約300枚のレジ袋を使用していることになり、原油で約4.5リットルになります。2人世帯ならその2倍、3人世帯ならその3倍、4人世帯なら・・・と積み重ねで膨大な量になります。

また、レジ袋が使われるということは、そのレジ袋がごみとして出されることになります。ごみを処理すれば二酸化炭素が排出され、地球温暖化につながります。



家計で考えると・・・

レジ袋有料(1枚5円)のお店で、2日に1回買い物をしたら1ヵ月でレジ袋代が約80円、1年で約1,000円になり、まさにちりも積もれば山となります。

お店によってはレジ袋を断りエコバッグでお買い物をするとポイントを付けてくれるうれしい特典もあります。

エコバッグ持参はちょっとした気づかいで、誰もが簡単にできるごみ減量化・地球温暖化防止対策です。買い物に行くときは、エコバッグを持参して余分なレジ袋は断るようにしましょう。



**昨年1月に全世帯に配布いたしました
エコ・バッグ(保冷型)のご活用をお願いいたします！**

問い合わせ

本庁環境管理課

Tel32-3911

平成23年度 特定健康診査などの実施について

～健診を受診して年に1度の健康チェックを！～

4年目を迎える「特定健康診査」などの各種健康診査を今年度も実施します。

健診は、病気の早期発見・早期治療はもちろん、病気になる危険性を見つけたり、病気の発症をくい止めるためのものです。発症・重症化すると医療費の負担が増えるだけでなく、大切な時間も費やし、家族にも大きな負担をかけることになります。

対象となる方には、6月下旬に受診案内・受診券を送付します。

緑色の封筒がお手元に届きましたら、年に1度の健康チェックを行い、毎日を健康に過ごしましょう。

特定健康診査

●対象者	4月1日現在、紀北町国民健康保険加入者で、年度内に40歳～74歳になる方
※妊産婦、6ヵ月以上入院している方、特別養護老人ホーム・障害者支援施設などへの入所者は、対象となりません。	
●受診場所	病院・診療所・集団健診実施会場など
●受診期間	7月1日（金）～11月30日（水）
●自己負担額	1,000円
●問い合わせ	本庁住民課国保・年金係 TEL32-3907

※特定健康診査の結果、「メタボリックシンドロームの危険性がある」と判定された方には、「特定保健指導」（積極的支援、動機付け支援）を実施します。保健師などの専門職が行う「特定保健指導」をきっかけに生活習慣を改善し、生活習慣病の予防に努めましょう。

後期高齢者健康診査

6月下旬に受診券・受診案内を後期高齢者医療広域連合から送付します。	
●対象者	後期高齢者医療保険の被保険者の方 平成23年8月31日までに被保険者になられる方
●受診場所	病院・診療所など
●受診期間	7月1日（金）～11月30日（水）
●受診方法	受診券・受診案内をご覧ください。
●自己負担額	住民税課税世帯の方 500円 住民税非課税世帯の方 200円
※平成23年5月から8月までに被保険者になられる方には、8月以降に順次、受診券・受診案内を送付します。	
●問い合わせ	三重県後期高齢者医療広域連合事業課 TEL0597-221-6883・6884 本庁住民課国保・年金係 TEL32-3907

げんき度チェック

要支援者・要介護者を除く65歳以上が対象です。健康状態を把握することができる「げんき度チェックリスト」を実施し、生活機能が低下し、介護予防事業の利用が望ましい高齢者を早期把握します。 ※対象となる方には、「げんき度チェックリスト」を5月中旬に自宅へ郵送しています。記入後は返信用封筒で返信してください。	
●問い合わせ	本庁福祉保健課地域保健係 TEL32-3912

国民健康保険からのお知らせ ～平成23年度 脳ドック検診実施について～

紀北町国民健康保険では、保健事業の一環として病気の早期発見・早期治療・重症化の防止を目的に脳ドック検診を実施します。脳ドック検診は、「認知症」の原因の一つと考えられる「脳動脈硬化」や自覚症状のない「脳梗塞」を発見したり、「脳卒中」や「くも膜下出血」の予防につながります。「認知症」は早期治療を行うことにより、程度を軽くしたり、進行を遅くすることができます。

受診を希望される方は下記の要領により応募してください。

《 脳ドック検診募集要領 》

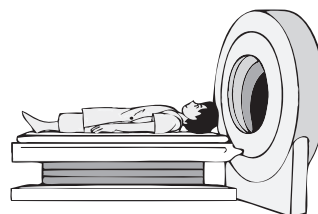
- 募 集 対 象 者** 紀北町国民健康保険に加入されており、以下の全てに該当する方
 ①35 歳以上 75 歳未満の方（平成 23 年 8 月 1 日現在）
 ②加入期間が 1 年以上の方
 ③過年度分保険料に滞納がない世帯の方
 ④平成 21、22 年度に受診されていない方
 ※体内に電子電気部品を装着されている方や安全の確認ができない体内金属がある方、妊娠中または妊娠の可能性のある方は受診できません。
- 募 集 定 員** 60名(定員を超えた場合は抽選となります。結果は7月に通知いたします。)
 ※はがきは1人1枚のみ有効です。
- 応 募 方 法** 下記の記入例を参考に官製はがきに必要事項を記入のうえ、応募してください。
 ①「脳ドック希望」と明記 ②受診希望月（9月・10月のどちらか）③住所
 ④氏名 ⑤性別 ⑥生年月日 ⑦電話番号 ⑧国民健康保険被保険者証の記号番号（6けた） ⑨尾鷲総合病院の診察券番号（現在診察券をお持ちの方のみ）
- 応 募 締 切** 6月30日（木）必着
- 受 診 期 間** 9月1日（木）～10月31日（月）【土・日曜日、祝日を除く】
 （ 予 定 ） ※9月・10月のどちらかを選択していただきます。
 （ご希望にそえない場合がありますので、ご了承ください。）
- 検 査 内 容** M R I（頭部の断面図）・M R A（頭部と頸部の血液の流れ）
- 検 査 機 関** 尾鷲総合病院健診センター
- 自 己 負 担 金** 6,900 円（費用額 23,000 円 × 30%）

【応募はがき記入例】

表	裏
〒519-3492 紀北町海山区相賀 4 9 5 番地 8 紀北町役場 住民課 国保・年金係 行	①脳ドック希望 ②受診希望月（○月） ③住所 ④氏名 ⑤性別 ⑥生年月日 ⑦電話番号 ⑧国保被保険者証記号番号 ⑨尾鷲総合病院診察券番号

問い合わせ

本庁住民課 国保・年金係
Tel.32-3907



「町おこしリーダー研修」参加者募集！

紀北町では、これからのまちづくりの核となる若者の育成を目的とする研修事業「町おこしリーダー研修」を行っています。昨年度に引き続き、第2回研修生を募集します。

紀北町を生き生きと元気な町にするため、アドバイザーの指導のもと、講義や座談会、先進地取材などをとおして地域資源を活かした町づくりについて研修します。

先進地取材は、その町づくりの牽引者とお会いし、成功事例や失敗談など何うとともに、その方たちの熱い思いに触れることを目的としています。また、研修のまとめとして成果報告会を公開で開催します。

研修終了後は、町の活性化に努めていただける意欲のある方の応募をお待ちしております。

＜研修アドバイザー＞ 三重大学大学院医学系研究科 西村 ^{のりひろ} 訓弘 教授

三重県度会郡南伊勢町出身。三重大学大学院医学系研究科教授のかたわら、社会連携担当の学長補佐を務め、本年4月に新たに設けられた三重大学地域戦略センターのセンター長に就く。参加者と車座になってとことん話し合い、地域の自立と自律にむけて共に働いていきたいと抱負を語る。西村教授の他に、三重大学地域戦略センターの武峰誠一郎研究員もアドバイザーとして参加の予定。

＜研修対象者＞

- ・紀北町在住者でおおむね20才～40才までの社会人
- ・応募人数 6名（応募者数が定員を超えた場合は、書類選考（動機、活動実績など）により決定します。）

＜研修日程＞

- ・講義及び座談会：役場会議室などで平日の夜6回程度
- ・先進地取材：国内で2泊3日以内
- ・申込書：本庁企画課、紀伊長島総合支所総務室に配備
- ・申込期限：6月17日（金）午後5時

問い合わせ・申し込み

本庁企画課企画係 Tel32-3903 Fax32-2331

E-mail: kikaku@town.mie-kihoku.lg.jp



老人ホーム赤羽寮嘱託職員募集

職種及び採用予定人員

看護師 1名

応募資格

紀北町内に居住し、普通自動車免許を所有し、看護師免許または准看護師免許取得者で心身共に健全な方

採用年月日

平成23年7月1日（金）

雇用期間

採用日から1年更新とし、勤務成績により雇用期間を延長する

応募期間

6月1日（水）～6月17日（金）

午前8時30分～午後5時

（ただし、土・日曜日は除く）

提出書類（各1通）

- ①申込書兼履歴書（本庁総務課職員係及び紀伊長島総合支所総務室で交付）
- ②健康診断書（本庁総務課職員係及び紀伊長島総合支所

総務室で交付）

※健康診断は、指定様式において必ず受診すること

③普通自動車運転免許証の写し

④看護師または准看護師免許証の写し

試験日及び場所

6月23日（木）午前9時～

紀北町役場別館3階大会議室

試験の内容

教養試験、面接試験

合格者の発表

決定後本人に郵送にて通知

賃金等

紀北町老人ホーム赤羽寮嘱託職員に関する規程による

【書類提出先及び問い合わせ】

本庁総務課職員係 Tel32-3901

【業務内容などの問い合わせ】

老人ホーム赤羽寮 Tel47-1830

2011 きほく燈籠祭についてお知らせ

今年の燈籠祭は7月23日(土)午後3時から、紀伊長島区長島 長島港にて開催されます。

大燈籠製作に参加しませんか？

ふれあい広場マンドロでは、毎週月～土曜日の午後7時30分より大燈籠の製作作業が行われていますので、どなたでもお気軽に作業に参加してください。町民全員の力で燈籠祭を成功させましょう！！

ご協賛のお願い

燈籠祭は皆様方のご協賛により運営しております。今年もこれまでと変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※ メッセージ花火の募集について ※

恋人や家族、親友・・・あなたの大切な人へ、メッセージと花火のプレゼント

恋人への思い切ったプロポーズ、両親への感謝の気持ちなど、明るい内容なら何でもOK！！
燈籠祭当日あなたのメッセージを会場のスピーカーで伝えた後に、打ち上げ花火が夜空を彩ります。
※10組限定の打ち上げのため、申し込みは先着順とさせていただきますのでご了承ください。

内 容：プロポーズ、感謝の気持ちなど明るい内容なら何でもOK！！
(誹謗中傷、企業広告等はお断りさせていただきます。)

料 金：1発5,000円～(4号玉・花火直径約120m～(応相談))

申込締切：7月15日(金)

決定通知：申し込みの方に直接電話にてご連絡いたします。

※雨天などで延期の場合でもキャンセルはできませんのでご了承ください。

※ ごみナビボランティアの募集について ※

会場では昨年に引き続きごみの分別案内ごみナビを行います。
雄大な大燈籠を見ながら、あなたもごみナビボランティアに参加しませんか？
あなた自身の手で燈籠祭をきれいな祭りにしよう！！

申込締切：7月15日(金)

※ 「車いす専用観覧席」利用者募集について ※

会場内に「車いす専用観覧席」をご用意しますのでご利用される方はお申し込みください。

設置日時：7月23日(土) 午後4時～10時 ※荒天の場合順延

対 象：「お身体が不自由で車いすご利用の方」

※利用者1名につき介助人は2名までとさせていただきます。

申込締切：7月19日(火) ※席数に限りがありますのでお早めにお申し込みください。

問い合わせ・申し込み

燈籠祭実行委員会(ふれあい広場「マンドロ」内) Tel 47-5378

E-mail: info@touroumaturi.com

〒519-3204 紀北町紀伊長島区東長島 287-15

きぼく七夕物語

～あなたも天の川の星のひとつを創ってみませんか～

日時 7月2日(土)午後5時30分～(雨天順延/小雨決行)
場所 銚子川(キャンペーン海山)種まき権兵衛の里

『みんなの願いを星に込めて、七夕の夜、銚子川が天の川に変わる』

海山区の清流銚子川において、本年も『きぼく七夕物語』を開催いたします。

5周年を迎える今年は、銚子川が流れる便ノ山区で学生時代を過ごした株式会社東芝取締役会長 西田厚聰氏とのご縁を得てイベントの趣旨に賛同いただき、『願い星』カプセルと灯りのLED2500個を協賛いただくことになりました。環境にも優しいLEDの灯りで銚子川の天の川がさらに輝きを増します。

当日、川原にも無数の小さな灯りの星座群が出現し、海山区出身の書家伊藤潤一氏の書道パフォーマンスなどの演出もあります。

町民の皆様もさらに輝きの

増す地上の天の川に、願いを込めた『星』を流しにお越しください。

※当日は、会場付近に駐車場を設けておりません。海山区内『多目的広場』と『銚子川河川敷』の駐車場をご利用いただき、駐車場からはシャトルバスで会場までお越しください。

……参加募集のお知らせ……

○実行委員になって、一緒に『きぼく七夕物語』をつくらう

現在、きぼく七夕物語実行委員会では当日及び準備段階のご協力を頂ける方を募集しております。当日、スタッフとしてご参加頂ける方、このイベントにご興味のある方、仲間になって一緒に祭りを作りますませんか？ 参加ご希望の方は実行委員会までお問い合わせ

わけください。お待ちしております。

○大事な人と『ハート型願い星』を流そう

『ハート型願い星』を流しませんか。二人の絆を更に強めたい方や遠距離恋愛中の方、恋人同士、ご夫婦、ご兄妹などカップルにお勧めです。参加ご希望の方は実行委員会までお問い合わせください。(数に限りがあります)

問い合わせ

きぼく七夕物語実行委員会事務局
 TEL090(7686)2690



2011きぼく夏祭りKODO いかだレース参加チーム募集

2011

きぼく夏まつりKODO

日時 7月30日(土)
 午後2時～9時
場所 引本魚市場前

いかだレース参加チーム募集
手作りいかだレース

★参加者が自費で作成したいかだに限りません。いかだの規定、詳細は競技要項(実行委員会にて配布)をご覧ください。

★賞金 1位:10万円 2位:5万円 3位:3万円

一般参加レース

★実行委員会が用意したいかだを使用してレースを行います。

★賞金 1位:3万円 2位:1万円 3位:5千円

募集定数

手作りいかだレース 20チーム
 一般参加レース 30チーム

(各レースとも募集定数になり次第締め切らせていただきます。)

参加資格

小学校5年生以上、健康で泳げる方

参加料(一人あたり)

大人 1,000円
 18歳以下 500円

申込期間

7月8日(金)まで

競技方法

2名以上4名以下(小学校4年生以下が乗員する場合は保護者同伴)のチームで、手作り、または実行委員会が用意したいかだを漕ぎ、ブイを往復するレース

実行委員募集

私たちと一緒にイベントを企画してみませんか？

準備段階でご協力いただける方を募集しています。

当日スタッフとして活動してくれる方も大歓迎。

興味のある方はぜひ実行委員会までご連絡ください。

問い合わせ

夏祭りKODO実行委員会
 いかだレース担当野間さん
 TEL090(1239)7044
 事務局担当畦地さん
 TEL080(5157)9412

毎月第3日曜日は

「健康ウォーキングの日」です！



今回は、紀北町のウォーキングコースをご紹介します。

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 片上公園周回コース (2.2 Km) | 2. 赤羽公園周回コース (1.5 Km) |
| 3. 江ノ浦周回コース (3.6 Km) | 4. 道瀬・豊浦周回コース (4.1 Km) |
| 5. 大白公園周回コース (2.2 Km) | 6. 島勝周回コース (2.6 Km) |
| 7. 白石湖周回コース (5.0 Km) | 8. 権兵衛の里周回コース (5.0 Km) |

以上の8コースです。

「健康ウォーキングの日」今月のおすすめコース

海山区の大白公園周回コースです。大白公園の大自然を体感しながら、みなさんと一緒に歩いてみましょう。初心者の方も大歓迎です。

開催日時 6月19日(日) 午前10時～ ※雨天中止

集合場所 大白公園の駐車場(駐車場が狭いので、できるだけ乗り合いで来てください)

問い合わせ 教育委員会本庁生涯学習課 TEL32-3915 本庁福祉保健課地域保健係 TEL32-3912

♪ 今月から日頃、ウォーキングを実践されている方の体験談を掲載していきます ♪

題名「健康歩こう会」 紀伊長島区長島 鼎 康雄 さん

30年前は町で歩いているのは、猫と犬だけでした。その内、保健センターで歩くのが健康に良いと勧め、町民の希望で健康歩こう会が生まれました。それから30年間、毎月1回歩き、300回になろうとしています。人生50年いや80年、健康で過ごしたいと思います。

町も健康に力を入れていただいているので、1日1回、必ず歩くことにしてはどうですか。



緊急地震速報による訓練の実施について

消防庁及び気象庁による「全国瞬時警報システム(J-ALERT)」を活用した緊急地震速報の対応訓練が、全国的に実施されます。

今回の訓練は、気象庁が発表した「訓練 緊急地震速報」の情報を、消防庁が全国瞬時警報システム(J-ALERT)により、人工衛星を経由して全国の訓練参加自治体等に伝達することにより行います。

当日は、**防災行政無線から大地震が発生すると放送されます**ので、あわてずに、まず身の安全を確保することを心がける訓練をしましょう。

訓練日時 平成23年6月23日(火) 午前10時15分頃

問い合わせ 本庁危機管理課防災対策係 TEL32-3904

町営住宅入居希望者募集

募 集 棟		間 取 り	家賃(月額)
あけぼの団地 B 棟 (相賀)	208 号 (1 階)	3DK (和 2・洋 1・台所・ 浴室・洗面・トイレ)	12,200 円 ～ 18,100 円
前桂団地 (旧) (船津)	304 号 (2 階)	3DK (和 2・洋 1・台所・ 浴室・洗面・トイレ)	17,200 円 ～ 25,700 円
汐ノ津呂団地 (相賀)	188 号 (4 階)	3K (和 2・洋 1・台所・浴室・ 洗面・トイレ)	9,000 円 ～ 13,400 円
志子第 2 団地 (島原)	102 号 (1 階)	3K (和 2・洋 1・台所・浴室・ 洗面・トイレ)	22,700 円 ～ 33,800 円

※収入によって家賃が変わります。
※申し込み数が多いときは、選考になります。

入居指定日

7月22日(金)予定

応募基準

①平成23年5月31日時点で紀北
町内に住所または勤務場所を有
する方
②同居している家族、または同
居しようとする親族がある方
※昭和31年4月1日以前の生ま
れの方または身体障害者その他
の特に居住の安定を図る必要が
ある方は単身入居可能
③基準収入月額 15万8千円以
下
※基準収入月額とは、入居者及
び同居者の過去1年間の所得か
ら対象となる控除額を差し引き
12で除した額をいいます。

受付期間

6月1日(水)～14日(火)
(ただし、土・日曜日は除く)

問い合わせ・申し込み

本庁建設課管理係
TEL 39110
紀伊長島総合支所産業建設室
TEL 11111

図書館だより (6月の新刊案内)



町民センター図書室から

「保身」
/ 小杉健治

新刊案内「図書名」/ 著者名

「棟梁」/ 小川三夫
「純平、考え直せ」/ 奥田英朗
「そういうものだろ、仕事っていうのは」/ 重松清 野中柊 石田衣良 大崎善生 盛田隆二 津村記久子
「ブランジュリ タケウチどこにもないホームベーカリーレシピ」/ 竹内久典
「おいしい野菜づくり大図鑑」/ 東京都農業試験場
「記憶喪失になったぼくが見た世界」/ 坪倉優介
「木暮荘物語」/ 三浦しをん
「トトロの住む家」/ 宮崎駿
「三十光年の星たち(上・下)」/ 宮本輝

お一人 5 冊 15 日間借りられます。初めてご利用の方、カード登録には住所証明できるものをお持ちください。



児童図書館から

「あめふり」
/ まついのりこ

新刊案内「図書名」/ 著者名

「おまかせコックさん」/ 竹下文子
「たまごさんがね・・・」/ とよたかずひこ
「まるくておいしいよ」/ こにしえいこ
「ペネロペのいちにち」/ アン・グットマン
「あっぱれ! てるてる王子」/ コマヤスカン
「セミくんいよいよこんやです」/ 工藤ノリコ
「ぞうくんのあめふりさんぽ」/ なかのひろたか
「どうしちゃったの? ねずみくん」/ なかえよしを
「LEE クリエイティブキッチン 野菜の元気食堂」/ 生活文化編集部

※借りた本は必ず返してください。
☆あかちゃんの時からお母さんの膝で絵本を!



多目的会館図書室から

「ミルク世紀」
/ 寄藤文平

新刊案内「図書名」/ 著者名

【一般図書】
「新装版 原発を止めた街」/ 北村博司
「著名人名づけ事典」/ 矢島裕紀彦
「ウスケボーイズ」/ 河合香織
「こちらあみ子」/ 今村夏子
「ちょらちょら」/ 畠中恵
「サトリ(上・下)」/ ドン・ウィンズロウ
「放課後はミステリーとともに」/ 東川篤哉
「月の街 山の街」/ イ・チョルファン
「感染遊戯」/ 誉田哲也
「川あかり」/ 葉室麟
「ジェノサイド」/ 高野和明
「バタフライ・エフェクト 世界を変える力」/ アンディ・アンドルーズ
【児童図書】
「ゴーストハント①～③」/ 小野不由美
「チョコレートパン」/ 長新太
「ギネス世界記録 2011」/ クレイグ・グレンディ

※6月23日(木)は図書整理のため、休室させていただきます。

※延滞されている方は、至急ご返却ください。



消防・警察だより

救急休日在宅当番表

受診する前に電話で連絡してください。時間は9時～17時です。変更がある場合がありますのでご注意ください。(救急医療情報システム TEL 22-1199)

月日	曜日	尾 鷲	電 話	紀 北	電 話
6/5	日	三木浦診療所	28-2316	第 一 病 院	36-1111
6/12	日			木ノ内医院	47-4346
6/19	日	西村整形外科	23-3210	垣内胃腸科内科医院	47-4800
6/26	日			加 藤 内 科	32-1666

消防だより

火災・救急発生状況(4月末現在)

		総件数	建 物	林 野	車 両	船 舶	航空機	その他
火 災	紀伊長島区	3(+1)	2(±0)	0(±0)	0(±0)	0(±0)	0(±0)	1(+1)
	海 山 区	4(+2)	0(-1)	1(+1)	0(±0)	0(±0)	0(±0)	3(+2)
	組合管内	12(+6)	4(+1)	1(+1)	1(+1)	1(+1)	0(±0)	5(+2)

		総件数	急 病	交通事故	一般負傷	その他
救 急	紀伊長島区	164(+43)	114(+42)	13(+3)	15(-4)	22(+2)
	海 山 区	123(-13)	86(-9)	8(-1)	15(-6)	14(+3)
	組合管内	630(+51)	415(+52)	42(+1)	92(-11)	81(+9)

※組合管内は、三重紀北消防組合管内の件数

()は前年比

警察だより

免許証の住所が紀伊長島区の方のみ

6月の免許更新日(14日・28日)

受 付 時 間 9時～14時/優良・一般 15時～16時

※問い合わせは尾鷲警察署交通課免許係(TEL 25-0110)までお電話ください。

交通事故発生状況(4月末現在)

	交通事故総件数	人身事故件数	死 者 数	負 傷 者 数	物損事故件数
紀 北 町	148(+25)	23(-1)	0(±0)	28(-4)	125(+26)
尾鷲署管内	302(+34)	52(-2)	1(+1)	62(-8)	250(+36)
三 重 県 内	20,147(-60)	3,444(-336)	31(-9)	4,541(-443)	16,703(+276)

()は前年比

戸籍の窓

【平成23年4月1日～30日受付分】

お誕生おめでとう

住 所	子 の 名 前	保 護 者
東長島	柳田虎次郎	崇宏
長 島	衣川 颯人	司
海 野	東 陸斗	桂哉
長 島	岡本 陸王	竜一
東長島	駒井 悠力	彰人
長 島	紀藤 和葉	祐元
長 島	東 清陽	正規
道 瀬	宮下 咲空	英規
三 浦	中野倅治郎	勇樹
相 賀	土山 優奈	宰
相 賀	濱田 晴翔	恭史
相 賀	藤村 迅	匠
相 賀	山代屋芽良	和士

ごめい福を祈ります

住 所	氏 名	(年齢)
長 島	松生 秋子	(88歳)
島 原	上野 正和	(83歳)
東長島	西桐 尊子	(77歳)
島 原	久保 元藏	(94歳)
長 島	東 正美	(87歳)
島 原	久保しまゑ	(93歳)
長 島	東 きよ子	(81歳)
長 島	脇 千枝	(85歳)
海 野	和手 正	(95歳)
矢口浦	家崎 定助	(91歳)
島勝浦	中村 美榮	(87歳)
引本浦	濱田 久	(83歳)
相 賀	坂場 満	(58歳)
矢口浦	仲村 彰夫	(84歳)
矢口浦	植村 幸成	(86歳)
小 浦	濱田 昭一	(78歳)
船 津	楠 盛也	(92歳)
船 津	林 かの	(94歳)
馬 瀬	坂上 修	(81歳)
引本浦	高塚さだゑ	(92歳)
相 賀	塩崎 民	(87歳)
島勝浦	山下 はふ	(97歳)
相 賀	熊城 かね	(84歳)

矢口浦	矢口浦	矢口浦	引本浦	相 賀	島勝浦	相 賀	長 島	長 島	東長島	東長島	東長島	東長島
仲村	植村	家崎	濱田	奥村	山下	原田	脇	松生	世古	山中	東	長井
町子	達仁	富夫	典一	敏典	幸則	幸信	賢次	和久	勝彦	剛司	久永	樹
二万円	二万円	二万円	二万円	三万円	三万円	二万円	五万円	二万円	十万円	三万円	十万円	一万円

善意をありがとう
(紀北町社会福祉協議会へ)

5/3

昭和の縁日



5月3日、長島神社境内で昭和の縁日が行われました。

紀伊長島区の長島神社で20年に一度社殿などの建て替えや改築を行う「御造営」にともない前夜祭として催されたもので、「射的」「かたぬき」など昔懐かしい遊びの屋台や、「綿菓子」「かき氷」などの屋台が軒を連ね、ゴールデンウィーク期間中ということもあり、沢山の人が出で賑わっていました。

5/12

被災地支援職員派遣出発式



5月12日、役場別館3階大会議室で被災地支援職員派遣出発式が行われました。

13日から約1ヵ月間、町職員12人が4班の交代制で宮城県気仙沼市に、保健師1人が岩手県陸前高田市に派遣されます。

町長と議会議長から激励の言葉を受けた職員の代表者は、「現地では最大限の支援活動をしたい」と決意を述べていました。



4/21

紀伊長島幼稚園いちご狩り



4月21日、紀伊長島幼稚園の園児がいちご狩りを楽しみました。

紀伊長島幼稚園が園児たちに旬の味を楽しんでもらおうと毎年実施しているもので、今年は41人の園児が農園を訪れました。

ビニールハウスの中は、いちごの甘い香りが充満していて、園児たちは自分の採ったいちごを友達と比べあったりしながら美味しそうに食べていました。

5/8

第42回「春の陸上記録会」



5月8日、海山グラウンドで「春の陸上記録会」が行われました。

競技は100m走や800m走、走り幅跳びなどのトラック競技、フィールド競技合わせて18種目が行われました。

町内外から出場した小学4年生から中学3年生までの190人の選手たちは、自己記録の更新を目指して力いっぱい競技に取り組んでいました。

けんこうの広場

6月4日(土)～6月10日(金)は

『歯の衛生週間』です!

～みがこうよ 未来へつなげる じょうぶな歯～

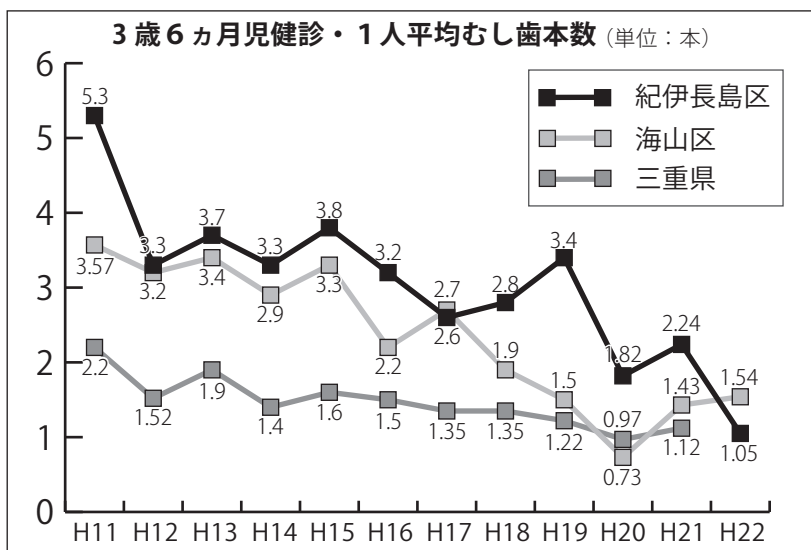


歯の衛生週間とは・・・

この週間は、歯の衛生に関する正しい知識を普及させ、むし歯や歯周病などの歯の病気を予防することにより、健康の保持・増進に役立ててもらうことを目的としています。この機会にあなたもお口の中の健康について考えてみましょう!

《紀北町の子どもむし歯の現状》

下のグラフは、3歳6ヵ月児健診を受けたお子さんの1人平均むし歯本数で、紀北町平均を紀伊長島区と海山区に分けて、三重県平均と比較しています。



1人当たり平均むし歯本数は

紀伊長島区 **1.05本**、海山区は **1.54本**でした。(紀北町全体では **1.3本**)

紀伊長島区では平成11年の5.3本と比べると、**1/5以下**に減少しています。しかし、むし歯のある子の割合は紀伊長島区 **35%**、海山区 **32.7%** (平成21年三重県は **26.4%**) と依然高いままです。



《むし歯予防4つのポイント》

Point 1

甘い物のとりすぎに注意しよう

甘いおやつやジュースをだらだら摂っているとむし歯になりやすい環境になってしまいます。甘い物は摂りすぎないようにし、時間と量をきちんと決めましょう。

Point 2

夜寝る前は必ず歯みがきを

寝ている間はだ液の流れが弱いので、むし歯菌が増殖し、むし歯になりやすくなります。

寝る前には必ず歯みがきをしましょう。

Point 3

フッ化物を利用しよう

フッ素は歯の表面を強くし、むし歯になりにくくする効果があります。3～4ヵ月おきに歯科医院でフッ素塗布を受けたり、フッ素入りの歯磨き剤やスプレーを利用しましょう。

Point 4

定期健診を受けよう

乳歯はむし歯になりやすく、進行も速いです。定期的に歯科医院を受診し、むし歯を早期発見するとともに、お口の中の状態や歯の清掃状態をチェックしてもらいましょう。





400ml 献血のお願い

6月3日(金)

老人福祉センター 10:30～13:00
// 14:00～16:30

6月20日(月)

引本浦集会所 10:30～13:00
菖蒲園 14:30～16:30

献血にご協力いただける方

- ・18歳～69歳までの方
(65歳以上の方は60～64歳の間に献血経験がある方)
- ・体重が男女とも50kg以上の方

4月に実施した3歳6ヵ月児健診で むし歯がなかったお子さんを紹介します

☆受診人数:15人

☆むし歯がなかったお子さん:10人(67%)

北村	東	宮地	西	湯本	植田	山口	藤村	川端	鈴木
桂人くん	佳憐ちゃん	勇粋くん	凜梨ちゃん	来夢ちゃん	輝くん	千陽ちゃん	瑛大くん	由依ちゃん	康太くん

おやこサークル

たんぽぽ(海山区)

- 【日程】6月7、14、21、28日(※毎週火曜日)
(10:30～11:30)
【場所】老人福祉センターにお問い合わせください。
(Tel.32-3912)

プチ・キッズ(紀伊長島区)

- 【日程】6月1、8、22、29日(※毎週水曜日)
(10:00～11:30)
【場所】保健センター2階(Tel.47-4750)
★親子で一緒に遊んだり、お母さん同士話をしたりしています。お気軽にお越しください。

赤ちゃん相談&おやこ広場

6月13日(月) 老人福祉センター

6月15日(水) 保健センター

- 【時間】10:00～11:30
【持ち物】母子健康手帳

★乳幼児の育児に関する相談や身体計測などを行っています。親子が自由に遊ぶスペースもありますので、お気軽にお越しください。

3歳6ヵ月児健康診査

6月9日(木)老人福祉センター

- 【受付時間】8:45～9:30
【対象者】H19.10.15～H19.12.9生まれのお子さん
★対象者には、通知書を郵送します。
忘れずに受診してください。

個別健康相談(糖尿病・高血圧・高脂血症等)

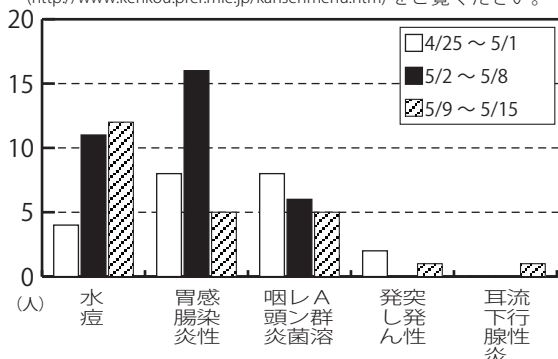
6月8日(水)保健センター

- 【時間】13:30～15:30
【対象者】糖尿病や高血圧などの生活習慣病で注意が必要といわれている方、治療中の方など。
【申し込み】6/6(月)までに老人福祉センターへお申し込みください。(Tel.32-3912)
★食事や運動などについて個別の相談に応じます。糖尿病、高血圧などの病気でお悩みの方、ぜひお越しください。

感染症情報(4月25日～5月15日分)

紀北地区の感染症の動向をお知らせします。

※詳しくは「三重県感染症情報センター」のホームページ
(<http://www.kenkou.pref.mie.jp/kansenmenu.htm>)をご覧ください。



一般健康相談(血圧・尿検査等)

6月1日(水)

船津集会所・・・9:30～10:30
新田多目的集施設・・・10:45～11:15
東長島公民館・・・10:00～11:00

6月2日(木)

白浦集会所・・・9:30～10:10
島勝漁村センター・・・10:25～10:55

6月3日(金)

便ノ山多目的集施設・・・9:30～10:00
木津集会所・・・10:15～10:45

6月8日(水)

馬瀬集会所・・・9:30～10:00
河内区民会館・・・10:15～10:45
保健センター・・・10:00～11:00

6月15日(水)

赤羽出張所・・・9:30～10:40
大原公民館・・・9:30～10:00
此ヶ野公民館・・・10:20～10:50

6月22日(水)

下地集会所・・・13:30～14:00
志子奥集会所・・・14:15～14:45

6月24日(金)

小山浦集会所・・・9:30～10:00
引本公民館・・・10:20～10:50

7月1日(金)

便ノ山多目的集施設・・・9:30～10:00
木津集会所・・・10:15～10:45

歯っぴ～教室

6月30日(木)老人福祉センター

- 【時間】10:00～11:00
【対象者】乳幼児の保護者
【持ち物】使用中の歯ブラシ、タオル

★親子で健康な歯を目指しましょう!
参加を希望される方は、6/24(金)までに老人福祉センターへご連絡ください。
(Tel.32-3912)

6月のお知らせ

みんなの声回収箱 設置のお知らせ

町では住民目線の町政を実現するため、町民の皆さんから直に意見を聞けるようにアンケート用紙を窓口に備え付けます。アンケート結果については行政に取り入れ、職員の意識改革や、行政サービス向上などに活かすべく予定しています。

回収箱設置場所

- ・本庁1階正面玄関付近
- ・紀伊長島総合支所正面玄関付近

設置開始日 6月1日(水)

問い合わせ

本庁企画課広報係
TEL(32) 3903

普通救命講習

日時：6月9日(木) 午後1時～4時
場所：紀伊長島総合支所3階会議室
※詳しくはお問い合わせください。
TEL47-0001(紀伊長島消防署)

精神保健福祉相談

日時：6月27日(月)
場所：保健センター
※事前予約が必要です。保健センターまでご連絡ください。
TEL47-4750

住民票などの時間外 交付について

平成23年3月31日(木)まで、本庁及び紀伊長島総合支所で業務時間を延長し、住民票などの交付を行ってまいりましたが、今年度から電話予約による業務時間外交付に変更となりました。このことにあわせて、税務関係証明も交付しています。

電話による交付予約受付時間

平日の午前8時30分

～午後5時15分

受け取り時間

平日 午後5時15分～午後7時

土曜日 午前10時～正午

(戸籍謄本等関係証明を除く)

交付手続きなど、詳しくはお問い合わせください。

問い合わせ

【住民票など】

本庁住民課

TEL(32) 3907

紀伊長島総合支所住民室住民係

TEL(47) 1111

【税務証明など】

本庁税務課

TEL(32) 3908

紀伊長島総合支所住民室税務係

TEL(47) 1111

水稲共済加入の 皆さんへ

掛け金の納期限は

6月30日(木)です！

平成23年度水稲共済について、掛け金の納入期限は6月30日(木)です。納付書などが届きましたら、内容をご確認のうえ、納期限までにお納めください。また内容に変更のある場合はお問い合わせください。

問い合わせ

東紀州農業共済事務組合紀北支所

TEL(47) 1477

東日本大震災により 被害を受けた方へ

税金関係のお知らせ

大震災により被害を受けた方は、所得税の軽減・免除が受けられ、税務署で手続きを行うことで所得税が還付となる場合があります。そのほか、源泉所得税の徴収猶予や還付、廃車となった自動車の自動車重量税の還付などの特例があります。詳しくは、最寄りの税務署にお問い合わせいただくか、国税庁ホームページ(<http://www.ntag.go.jp>)をご覧ください。

問い合わせ

尾鷲税務署

TEL(22) 2222

あなたの「ふるさと寄 附金」が被災地支援に

被災地の自治体への寄附金、自治体を通じての被災者への義援金は「ふるさと寄附金」として住民税・所得税の控除が受けられます。日本赤十字社や中央共同募金会などへの義援金も「ふるさと寄附金」として控除が受けられます。詳しくは総務省東日本大震災関連情報ホームページ(<http://www.soumu.go.jp>)

をご覧ください。

問い合わせ

本庁税務課課税係

TEL(32) 3908

地デジの無料戸別訪 問と相談コーナー 開設について

デジサポ三重では、地デジでお困りの方からの電話による受信相談を実施しています。場合によっては、直接ご自宅に伺う「戸別訪問」も実施していますので、お気軽にお問い合わせください。

なお、アンテナ工事などはできかねますので、ご了承願います。

また、次の日程で相談コーナーを開設しますのでお気軽にお越しください。

日時・場所

6月27日(月)

午前9時30分～午後4時30分

道瀬公民館

7月2日(土)

午前9時30分～午後4時30分

東長島公民館

問い合わせ

総務省三重県テレビ受信者支援センター(デジサポ三重)

TEL059(213)1030

無料法律相談

(予約制)

弁護士による無料法律相談を次のとおり開催します。

土地・相続問題や事故・損害などについてのご相談をお受けします。

なお、秘密は厳守されますので、お気軽にご相談ください。

日程	時間	場所
6月10日(金)	午後1時30分 ～4時	老人福祉センター (海山区)
日程	時間	場所
6月27日(月)	午後1時30分 ～4時	社会福祉会館 (紀伊長島区)

※相談を希望される方は各会場定員10名です。前日までに本庁住民課住民係まで予約のご連絡をお願いします。

※当事者間に係争がある場合、公平性を保つため、双方からのご相談は受けかねますので、ご了承ください。

問い合わせ

本庁住民課住民係
TEL(32) 3907

『子どもの人権110番』強化週間

平成22年中における法務省の人権擁護機関が救済手続きを開始した人権侵犯事件数は21,696件で、対前年比で478件(2.3%)増加しました。事件の特徴的な動向をみると、児童に対する暴行虐待が対前年比6.3%増加し771件、学校における「いじめ」に関する件数は対前年比51.9%と大幅に増加し事件数2,714件と過去最高となりました。このような子どもをめぐる種々の人権問題の解決を図るための取り組みを強化するため、全国一斉「子どもの人権110番」強化週間を実施します。

期間

6月27日(月)

～7月3日(日)

時間

午前8時30分～午後7時
※土・日曜日は午前10時～午後5時

場所

津地方法務局

「子どもの人権110番」
TEL0120(007)1110
(全国共通フリーダイヤル・無料)

問い合わせ

津地方法務局人権擁護課

TEL059(228)4193

自動車のリサイクル

平成17年1月から、自動車関連の業者とユーザーの皆さんが協力して自動車のリサイクルを進める法律「自動車リサイクル法」が施行されています。

ユーザーである皆さんが自車を購入する時に支払うリサイクル料金は、廃車から出るごみ(エアバッグ類やフロア類など)を適正に処理するために使われています。

廃車には、ごみとなる部品以外に、まだまだたくさん現役で活躍できる部品があります。現在、廃車の総重量の約9割は、リユース・リサイクル

ルされています。

リユース・リサイクルできる部品は、自動車の解体業の許可を受けた事業者によってしっかりと品質確認されています。さらに、リユース・リサイクルされた部品は、自動車の修理の際に新品よりも安く買うことができるため、経済的です。

おサイフにも、地球にも優しい「自動車のリサイクル」。ごみを減らして自然環境を守るため、ご理解とご協力をお願いします。

※次の事業を行う場合は、自動車リサイクル法で規定する登録または許可が必要です。

登録が必要な事業

●引取業(廃車の引き取り)

●フロン類回収業(引き取られた廃車からのフロン類の回収)

許可が必要な事業

●解体業(廃車の解体)

※リユース・リサイクルできる部品の取り出しも含む

●破砕業(解体された廃車の破砕)

問い合わせ

三重県尾鷲農林水産商工環境事務所環境室

TEL(23) 3469

未来に残そう

熊野灘の美しい海

海上保安庁では、6月1日から6月30日までの1カ月間を「海洋環境保全推進月間」と定め、「未来に残そう青い海」をスローガンに、○吸殻や釣り糸など、ごみのポイ捨てはしない!!
○弁当容器や空き缶は持ち帰る!!
などの海洋環境保全指導・啓発活動を行います。

美しい熊野灘を未来の子供たちに引き継いでいくために一人ひとりが環境保全を心がけましょう。

問い合わせ

尾鷲海上保安部

TEL(25) 0118





さわやか

満1歳 笑顔

「さわやか笑顔」のコーナーに掲載希望の方は、誕生月の前月の 10 日までに本庁企画課広報係までお申し込みください。

そうた
濱田 颯汰くん

平成22年6月24日

食べるの大好き、散歩も大好き
みんなの元気の源 そうたです。
<引本浦>将史・那美さん



はな
村川 花凧ちゃん

平成22年6月15日

お姉ちゃん達大好き花凧ちゃん。
元気いっぱい育ってね！
<上里>進・洋子さん



まゆ
世古 真悠ちゃん

平成22年6月22日

元気いっぱい☆笑顔がとってもステキ
な まゆです♥
<相賀>基樹・真澄さん



てっしょう
東 哲生くん

平成22年6月22日

超甘えん坊で超泣き虫なてっちゃん
男の子らしく元気なわんぱく坊主にな
〜れ！
<長島>孝道・尚香さん



かいり
曽我 海吏くん

平成22年6月3日

いつもニコニコ かいりくん♥
元気いっぱい育ってね！！
<島原>繁明・真奈美さん

4/24

津波避難場所確保のための奉仕活動



4月24日、相賀地区で津波避難場所確保のための奉仕活動が行われました。

相賀地区は海に近く、2つの川に挟まれているため、東日本大震災の規模の地震が発生した場合には、地区全体が飲み込まれる恐れがあり、避難路を早期に整備することが望まれていました。

国道42号線西側の山を利用して、地区住民およそ200人が草を刈ったり、林道まで駆け上られる道を作ったりと作業に汗を流していました。